
カードファイト！！ヴァンガード

先導者の道しるべ

大樹

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

カードファイト！！ヴァンガード

先導者の道しるべ

【Nコード】

N4706T

【作者名】

大樹

【あらすじ】

かつて古城駿が遊戯王の世界に飛ばされてから数年、今度もまた別の世界に飛ばされた。そしてそこはヴァンガードの世界だった。この作品は同作者の遊戯王デュエルモンスターズGX原作大崩壊物語の主人公がGX完結後という設定でヴァンガードの世界でやってみます。尚、原作大崩壊物語は未完結の作品です。因みに原作名等で遊戯王が入っているのはオリジナルカードで遊戯王のカードをもとにつくるからです。もしかしたら遊戯王のキャラクターが出るかもしれません。

それではよろしくお願いします。

G r a d e 1 運命の先導者（前書き）

今まで遊戯王しか書いていみせんでしたが初のヴァンガード。
でも主人公は遊戯王GXの時と同じだからよくわからない・・・。
それではよろしくお願いします。

Grade 1 運命の先導者

side 駿

ここはどこだ？確か僕は遊戯王の世界で十代達と一緒に世界を救ったはず。

デッキケースが付いてる、このカードはどう見てもヴァンガードのカードだな。この格好はヴァンガードの主人公、先導アイチの制服にそっくり

ってことはまさか今度はヴァンガードの世界に来ちゃった！

どうしよう鞆の中をあさってみる。〔後江中学校転校届〕どう見てもヴァンガードの世界だよこれ！

まあ、ヴァンガードは嫌いじゃないからいいけど、それにしても僕たちの世界とそっくりだな。

side 先導アイチ

先生の話だとこれからこのクラスに転校生が来るらしい。

昔から人と関わろうとしなかった僕にとってはもうどうでもいいことなのかもしれないね。

でも君ならどうする？ヴァンガードの戦士、ブラスタースブレード？

「では、挨拶をしてください。」

「今日からこのクラスに転校してきた古城駿です。
ところで先生、僕の席はどこですか？」

「えーとじゃあ、先導の隣に行ってくれ。」

周りからは「先導？久しぶりに聞く名前だぜ！」みたいなこと聞こえるけど・・・まあ何でもいいや。

「君が先導君だね。僕の名前は古城駿、よろしくね。」

「う・うん、よろしく」

side 駿

やった！主人公の隣の席だ！

そんなこんなで歴史の時間、この先生の歴史は面白い。

こんな授業なら毎日受けていたいな。そういえばさつき先導君が当てられていた。少し弱い感じがするけど・・・。

そうだ！声をかけてみよう。もしかしたら先導君と友達になれるかも！

「ねえ、先導君」

「な・何？」

「君はカードファイトするのかい？」

「い・いや僕はカードファイトなんてしないけど・・・何で？」

「いや、さつきブラスターブレードのカードを大事そうに眺めていたから君もやるのかなと思って。そうだ！今日放課後にカードファイトを教えてあげるよ。じゃ、今日放課後、絶対に正門のところに来てね。

待ってるよ。」

side 先導アイチ

さつき、転校してきたばかりの古城君に話しかけられた。

僕に放課後にカードファイトを覚えてくれるって。
断り切れずに返事しちゃったけど・・・。

そして放課後　今僕は走っている。クラスの森川君に大事なカードを取られちゃって。返してもらうためにカードキャピタルという店まで走る。

そして少し遅くて、ブラスタブレードを賭けに出しちゃって負けたから人に取りられちゃったって・・・。

そしたら森川君に勝った人が「俺達ヴァンガードファイターにとって何より神聖なものはファイトの結果だ。ファイトで失ったものはファイトでしか取り返せない」って言われてつい喧嘩売っちゃたよ！
どうしよう。

でもその人は意外と親切で初心者の僕にルールを覚えてくれたり、ブラスタブレードを貸してくれたりしてくれた。

そして一番驚いたのは彼が昔僕にブラスタブレードをくれた權トシキ君だったこと。でもどうしてこんなに変わっちゃったんだろう。

そして終盤、權君はドラゴニックオーバーロードでかなり攻めてきたけど最後はドラゴニックオーバーロードにブラスタブレードの攻撃を通して勝てた！　そういえば古城君との約束すっかり忘れてた。どうしよう。

すると入り口から声がする

「先導君！ やっと見つけた！」

「ふ・・・古城君!？」

「そういえば君はカードファイトはやった事が無いんじゃないかった

っけ？」

「いや・・・そうなんだけどここにいる櫛君が僕にいろいろ教えてくれて・・・。」

「まあいいやじゃあ早速櫛君とやらとお手合わせ願おうか。」

「いいだろうそこに座れ」

「先導君、ちよつとどいてくれるかな」

「いいよ。」

「スタンドアップ（THE）ヴァンガード」

二人はファーストヴァンガードを表側にする。

古城駿 ばーくがる

先攻櫛トシキ リザードランナー アンドウ

「お前もロイヤルパラディンデッキか・・・。俺のターンだ。まずは鎧の化身バーにライド！」

鎧の化身バー power8000

「更にヴァンガードのグレード以下のグレードを持つユニットをコールすることができる。希望の火エルモをコール！」

先攻は最初のターン攻撃できない、ターン終了。」

「僕のターン 小さな賢者マロンにライド！」

小さな賢者マロン power8000

「更にばーくがるはロイヤルパラディンがこのユニットにライドしたとき、このカードをリアガードゾーンにコールできる。」

更にばーくがるをレストすることにより、山札からふろうがるまたは未来の騎士リユーをコールする。

僕は山札からふろうがるをコール！

小さな賢者マロンにふろうがるの支援を付けて鎧の化身バーに攻撃」
小さな賢者マロン power13000

「ドライブトリガーチェック、トリガーなし。」

「ダメージトリガーチェック、同じくトリガーなし」

「ターン終了」

G r a d e 1 運命の先導者（後書き）

今回はここまで。　なんかアイチの性格がおかしくなってそうです
がまあ、気にしない。

Grade 2 勝利へのライド（前書き）

本日ヴァンガードブースターパック第2弾「竜魂乱舞」を購入しました。

本当なら昨日少し遠くまで行って購入しようと思っていたのですが、実は昨日まで修学旅行で丁度昨日帰ってきたところです。

それではカードファイト！！ヴァンガード 先導者の道しるべ

2話目

「勝利へのライド」を読んでください。

Grade 2 勝利へのライド

side 駿

「今度は俺のターンだドラゴンナイト ネハーレンにライド」

ドラゴンナイト ネハーレン power10000

「更に鎧の化身バーをコール！鎧の化身バーで小さな賢者マロンに攻撃！」

「ノーガード、ダメージトリガーチェック、トリガーは無し。」

「続いてドラゴンナイト ネハーレンで小さな賢者マロンに攻撃、ドライブトリガーチェック、クリティカルトリガーゲット」

引いたカード 魔竜導師 ラクシャ

（決してガードできなかったわけではないがここは通しておこう）

「これでターン終了だ」

「僕のスタンド&ドロフェイズ」 古城 駿 ダメージ3
權トシキ ダメージ1

「小さな賢者マロンにブラスタブレードをライド！」

「ブラスタブレードだと！？」

「更にういんがるをコール、沈黙の騎士ギャラティンをコール、ギャラティンにふううがるの支援を付けてドラゴンナイト ネハーレンに攻撃」

「ドラゴンモンクゲンジョウでガード」

ドラゴンモンクゲンジョウ シールド10000

「だったら、ういんがるの支援をブラスタブレードに付けてドラゴンナイト ネハーレンに攻撃！

ういんがるはブラスタブレードを支援するときそのバトル中更に4000ポイントパワーを上げる」

ブラスタブレード power19000

「ドラゴンダンサーモニカとワイバーンストライクジャランでガード！」

ドラゴンダンサーモニカ シールド5000

ワイバーンストライクジャラン シールド5000

「ドライブトリガーチェック、トリガーなし」

引いたカード 沈黙の騎士ギャラティン

「ターン終了」 （なかなか攻撃が通らない。流石今のところ原作で最強のキャラ。）

「俺のターン、FINALTURN！」

「ライドTHEヴァンガードこの世のすべてのものを焼き尽くす
黙示録の炎、ドラゴニックオーバーロード！」

「ついに来たか・・・」

「この勝負はここで終わりだ。モニカを二枚コール！更にワイバー
ンストライクジャランをコール
行くぞ、バーにモニカの支援を加えてブラスタブレードに攻撃！」

「ダメージトリガーチェック、トリガーは無し。」

引いたカード 大いなる賢者バロン

「モニカにワイバーンストライクジャランの支援を付けてブラスタ
ーブレードに攻撃」

「ダメージトリガーチェック、トリガーゲット世界樹の巫女エレイ
ン、ダメージを1回復する」

「そしてドラゴニックオーバーロードにエルモの支援を付けてギャ
ラティンに攻撃！」

ドラゴニックオーバーロード power17000

「チェックTHEドライブトリガー、トリガーは無し。」

引いたカード ドラゴニックオーバーロード

「このユニットのアタックが相手のリアガードにヒットしたときこ

のカードはもう一度スタンドする。この地に存在するすべてのものを焼き尽くすまで止まらない、これがドラゴニックオーバーロードの能力エターナルフレイムだ！」

「カッコつけてないで進めてくれ」

「……さあ、本番だドラゴニックオーバーロードでブラスターブレードを攻撃、チェックTHEドライブトリガー、トリガーは無し。」

引いたカード ドラゴニックオーバーロード

「次はお前のターンだ古城駿（まさかFINALTURN宣言が外れるとは）」

side 先導アイチ

さすが權君、古城君を一步も寄せ付けない。でも何で駿君はガードしてなかったんだろう？

それにもう後がないというのにあの表情、余裕過ぎる……。

確かに權君の宣言道理にはいかなかったけどでも權君の優勢に変わりはしない。

それとさっき確かに權君は少しカッコつけてたけど權君は実際かっこいいからいいと思う。

「僕のターンスタンド&ドローフエイズ」

古城 駿 ダメー

ジ5 權トシキ ダメージ1

「FINAL TURN!」

えっ!?! 逆ファイナルターン宣言!?! 權君はまだ1しかダメージを受けてないのに……。

「……!?!」

「僕は孤高の騎士ガンスロッドをライド! 更にういんがるのところに小さな賢者マロンをコール!

そしてガンスロッドのスキル、カウンターを2払うことでこのター
ンパワー+5000とクリティカル+1を得る。

僕はこの効果を2回使う」

孤高の騎士ガンスロッド power 19000

クリティカル 3

「ガンスロッドにマロンのブーストでドラゴニックオーバーロード
に攻撃!」

power 27000

それでもまだ權君は負けにはならない。

「ドライブトリガーチェック、ツインドライブ、ファーストチェック
幸運の運びてエポナ、セカンドチェック、幸運の運びてエポナ
クリティカルトリガーWゲット!」

そんな……クリティカルトリガーを二枚ってことはクリティカル+
2!?!

孤高の騎士ガンスロッド power29000

クリティカル 5

「・・・チェックTHEダメージトリガー、5枚チェック」

引いたカード ドラゴンナイト ネハーレン

鎧の化身バー

ワイバーンストライクテージャス

魔竜導師ラクシャ

リザードランナーナフド

ヒールトリガーは無し。

「俺の・・・負けか。」

古城駿WIN 權トシキ ダメージ6

凄い・・・あの權君に勝った！ 凄いよ古城君！

「とても楽しかった」 そう言って古城君は手を差しだす。でもそれを權君は無視しちゃった。

「ねえ、ゲーム後の握手！」

「まあ、悪いけどあいつはそういう奴だから。」

「古城駿と言ったな。その名前覚えておこう。」

そう言って權君は出て行ってしまった。

翌日　　今授業が終わった。

さっき森川君が「俺だったら二度と店に顔出せないぜ」って言った。

もしかしたら僕が勝っちゃったせいで權君はもう来ないのかもしれない・・・。

でも一応昨日の店に行ってみたけど誰もいない。

そうだよ、まだ時間早いもんね・・・。

僕が落ち込んでいるところに店員のお姉さん（確かミサキさんって言ったはず）に

僕が勝ったせいで權君がもう来ないかもしれないって言ったけどミサキさんはそとを見て

「そうでもないんじゃないの」って言うてくれた。

するとそこには權君と三和君と後何故か古城君がいた。

「何してたんだアイチ？」

「おおー！昨日の！」

「途中で彼らと会ってね、ここに来る途中だったらしいから一緒に来たんだけどもしよかったら僕が相手しようか？」

そのあと森川君と伊崎君も来て、今日もこの店は賑やかだ。

世界のカードゲーム人口は数億人を超え、僕たちの生活の一部として当たり前になっていた。

カードファイト！！ヴァンガード、僕たちの中で今一番注目を集めているカードゲームだ。

その中の一枚は僕と彼を再び出会わせてくれたんだ。

side 駿

すっきりしめようとしたところ悪いけど、この話はまだまだもう少し続きがある。

この後僕が森川君をボコボコにして星座占いが13位って言った。確か星座って12個までしかなかったはず。

ヴァンガードの世界も意外と面白いものだ。

Grade 2 勝利へのライド（後書き）

今回はここまで。

権戦の決着のつき方に多少無理があった点がありますが突っ込まないでください。

あと、駿は半分狙ってはいましたけどこれは後づけの理由で、本当はダメージを受けながらガンスロッドが来るのをずっと待っていました。

因みに引きがあほみたいにいいのは実は遊戯王の世界で色々あります、

ヒントとしては遊戯王デュエルモンスターズGXの第2期で起きたことと関係してくるようになります。

尚、原作大崩壊物語ではまだそこまで行ってません。

今後ともこの作品をよろしくお願いします。

感想、待ってます！

キャラクター紹介（前書き）

今回はキャラクターの紹介です。

キャラクター紹介

古城駿 この作品の主人公。暇だからということで神の話に付き合った後うつかり遊戯王の世界に来

てしまった。デッキは基本的にロイヤルパラディンデッキを使用する。

性格は絆を尊重するがそれを表に出すことはあまりない。他にも原作キャラと関わろうとするなど面倒なことでも面白そうなら良いらしい。この世界に来て3、4歳ほど若返った。

異性などにはあまり興味はない。

好きな食べ物は海老フライと甘いもので嫌いな食べ物は特になし。

外見は最初に遊戯王5D'sを見たとき遊戯王に出てくる不動遊星が気に入ったらしくなんとか似せようとするがなかなか似なくて困っているらしい。

アテム 駿が遊戯王の世界にいたときに出会った三千年前の古代エジプトのファラオの魂。

カードファイトをする予定はないが、時々出てくる。駿の背後霊。

遊城十代 遊戯王デュエルモンスターズGXというアニメの主人公。駿が遊戯王の世界にいたとき知り合った大親友の一人。元はとても明るい性格だったが遊戯王の原作で一時期鬱モード。それでもやっぱり明るい性格である。気になる人は遊戯王デュエルモンスターズGXを見てください。

ヴァンガードの世界に来た時に駿と同様に3、4歳ほど若返った。好きな食べ物は海老フライ。他にも何でもかんでも美味しそうに食べるため嫌いなものは無いと見える。

使用するデッキは遊戯王と同じくE・HEROデッキ（オリジナル

カード)である。

因みにE・HEROはリアガードサークルに存在する素材ユニットをソウルに置くことでスペリオルライドすることができるカードである。

キャラクター紹介（後書き）

今のところこんな予定です。

原作大崩壊物語に出てきた矢吹透というキャラクターが居ないんですけど、それはデッキが決まってるからです。多分出ます。

もしよければデッキのアイディアや、オリジナルカードのアイディアもください。

よろしく願います。

GRADE 3

新米教師十代誕生!?(前書き)

久々のヴァンが更新!

GRADE 3

新米教師十代誕生!?

SIDE 遊城十代

俺、遊城十代!デュエルアカデミアを出て、旅をしていたはずなのに・・・。

気付いたらなんか変なところ来っちゃった!

「なあ、これからヴァンガードファイトしに行こうぜ!」

ヴァンガードファイトってなんだ?

そういえばさつきからハネクリボーやユベルが見当たらない。

デュエルディスクもなくなっている。どうしよう。俺、これからどうなるんだろう・・・。

SIDE 駿

最近アイチととても仲良くなった。やっぱりどの世界でも友達は多くないかね!

今日はようやく試験が終わってこれからカードキャピタルに行くところだ。

そういえば最近森川と井崎に会わない。いや、もちろんクラスでは会うんだけど、店では会わない。

ちなみにこの世界での僕の親は二人ともほとんど仕事でいない。

「ねえ、古城君。試験どうだった?」

「・・・・・・・・・・・・・・・・無回答」

まあ、言うほど悪くはないと思

うが・・・。

「ところで先導君はどうだった？」

「ぼくはまあまあかな。」

「試験の話はやめよう。疲れる。」

「うん。そうだね。」

ん？あそこにいるのは・・・。見覚えがある男。誰だっけ？

「どうしたの？古城君！」

「・・・っいや、なんでもない。行こう。」

「いらっしゃい！」

「でた！もりし・・・じゃなくてシンさん。」

「もりし・・・なんですか？それから店長って呼んでください。」

「すみません。（中の人と間違えたなんて言えないな・・・。）
先導君僕とファイトしよう。」

「うん。」

「「スタンドアップヴァンガー・・・ん？」」

「どうしたの？」

「あいつは……。」

「おお！駿じゃねえか！！」

「……十代。」

「古城君、知り合い？」

「まあ、そんなもんだ。」

「駿、ここは何処だ？」

「お前の世界とは別のところだ。デュエルモンスターのカードもないだろう。」

「そういえば……。でも何か代わりに別のカードがある。」

「それがヴァンガードのカードだ。」

「ヴァンガード？」

「この世界でデュエルモンスターの代わりに主流になっているカードゲームだ。」

「もしよかったらルール教えようか？」

「よろしく。」

「なあ、それより駿。折角だから俺とヴァンガードファイトしようぜ！」

「いや、ここは僕よりも先導君とやったらいい。」

「え、え!?!? ぼ・・・僕が!?!?」

「よろしくな! アイチ！」

「う・・・うん」

「「スタンドアップ・ヴァンガード」」

アイチ スターダストトランペッター

十代 フレンドック

(見たことないカード・・・。)

「僕のターン。」 スタンド↓ドロー↓ライド

「小さな賢者マロンにライド! ターン終了です。」 ライド↓
メイン↓エンド

「俺のターン」 スタンド↓ドロー↓ライド

「E・HERO スパークマンにライド! フレンドックはリアガードに移動！」

バーストレディをコールフェザーマンをコール。」

スパークマン 8000 5000

フェザーマン 5000 5000 クリティカル

バーストレディ 6000 5000
フレンドック 3000 10000

ライド↓メイン↓バトル

「フレンドックのブーストでバーストレディのアタック！」

「ダメージチェック、トリガーなし」 ういんがる

「フェザーマンのブーストでスパークマンのアタック！」

「ドライブチェック、トリガーなし」 E・HEROフレイムウ
イングマン

「ダメージチェック、トリガーなし」 沈黙の騎士ギアラティン

「ターン終了」 バトル↓エンド

GRADE 3

新米教師十代誕生!?(後書き)

今回はここまで

GRADE 4 新たな先導者（前書き）

今回でまずアイチVS十代は終わります。
今回は新キャラが出てきます。

GRADE 4 新たな先導者

T U R N 先導アイチ

「僕のターンです。」

スタンド↓ドロ↓ライド

「立ち上がれ僕の分身！ライド、ブラスターストレード！！」

ライド↓メイン

「ギャラティンをコール、マロンをコール。」

右上 沈黙の騎士ギャラティン

V ブラスターストレード

左上 空

右下 空

真ん中下 小さな賢者マロン

左下 空

メイン↓バトル

「ギャラティンでスパークマンを攻撃！」

「ダメージチェック」

十代 D A M A G E 1

引いたカード E・HERO スパークマン

「マロンのブーストでブラスターストレードの攻撃！」

「ドライブチェック！ゲット、クリティカルトリガー。」

引いたカード 幸運の運び手エポナ

「ダメージチェック」

十代 DAMAGE 3

引いたカード E・HEROワイルドマン

E・HEROバブルマン ドロートリガー

「ドロートリガー、カードを一枚ドロ。」

「ターン終了です。」

TURN遊城十代

スタンド↓ドロ↓ライド

「E・HEROフレイムウィングマンにライド。」

ライド↓メイン

「フレンドツグのカウンターブラスト（1）。このカードを退却させ、ソウルからグレード1以下の

E・HEROを手札に加える。スパークマンを手札に加える。

スパークマンをコール。クレイマンをコール。

スパークマンとクレイマンをソウルにおき、E・HEROサンダージャイアントにスペリオルライド！」

右上 E・HEROバーストレディ 6000

V E・HEROサンダージャイアント 9000

左上 空

右下 E・HEROワイルドマン 7000

真ん中下 E・HEROフェザーマン 5000

左下 空

「サンダージャイアントのカウンターブラスト(2)。
パワーがこのカードよりも低いユニット一体を選択し、退却させる。
サンダージャイアントのパワーは9000。
よって8000のマロンを退却させる。更にワイルドマンをコール。
」

メイン↓バトル

「フェザーマンのブーストでサンダージャイアントのアタック!」

サンダージャイアント 14000

「ドライブチェック」

引いたカード フェザーマン クリティカル

「サンダージャイアントのクリティカル+1。更にバーストレディ
にパワー+5000」

「ダメージチェック」

引いたカード 大いなる賢者バロン アイチ D A M A G
E 4

閃光の盾イゾルデ

「ワイルドマンのブーストでバーストレディのアタック!」

バーストレディ 18000

「エポナでガード!」

「ターンエンド」

T U R N 先導アイチ

「僕のスタンド&ドロロー！」 スタンド↓ドロロー↓ライド

「僕に力を！気高き誇りの白き翼！ライド、孤高の騎士ガンスロット！」

ライド↓メイン

「薔薇の騎士モルガーナをコール！
マロンをコール！更にガンスロットのカウンターブラスト（2）。
このカードのパワーを+5000とクリティカル+1。
もう一度！」

右上 沈黙の騎士ギヤラティン 10000

V 孤高の騎士ガンスロット 19000 クリティカル 3

左上 薔薇の騎士モルガーナ

右下 空

真ん中下 小さな賢者マロン

左下 空

メイン↓バトル

「モルガーナでサンダージャイアントを攻撃！モルガーナの効果。
このカードがアタックするとき手札を1枚ドロップゾーンに置くこ
とでそのバトル中パワー+4000」

「フェザーマンでガード！」

「ギャラティンで攻撃！」

「ダメージチェック。」

十代DAMAGE4

「そしてガンスロッドで攻撃！」

「クレイマンとネクロダークマンでガード！」

E・HEROクレイマン SHIELD10000 G1

E・HEROネクロダークマン SHIELD5000 G2

孤高の騎士ガンスロッド POWER4000

「ツインドライブチェック！一枚目、スターライトユニコーン

二枚目、武器商人コヴァノン！ゲット

ドロートリガー！

カードを一枚ドロ。そしてガンスロッドにパワー＋5000。」

孤高の騎士ガンスロッド POWER9000

「ダメージチェック！」

引いたカード E・HEROネオス

E・HEROエッジマン

E・HEROテンペスター

「トリガーなし。」

十代DAMAGE

E7

WIN 先導アイチ

「くっそー！負けちまったぜ。でもガッチャ！楽しいファイトだったぜ！」

「僕も楽しかったです。ありがとうございました。」

「そういえば、二人ともファイトに集中していて気付かなかったと思うけどあっちに人がかたまってるよ。」

「ホントだ！あっちに行ってみようぜ！」

「どうやらファイトをやってるみたいだが・・・。
行ってみようか先導・・・いやそろそろアイチって呼んでいいかな？
僕のことにも駿って呼んでいいから。」

「ベ・・・別にいいけど。」

「じゃあ、行こうかアイチ！」

「うん！」

「??? 「ファイナルターン！！」」

「ファイナルターンって言うんだけど權ではないようだな。」

「だね、誰なんだろう。」

「鎧の化身バーのブーストで勝利の化身アリの攻撃！
ツインドライブ、ゲットクリティカルトリガー！
俺の勝ちだ。」

「なあ、十代。あいつって……。」

「間違いない透だ。」

「声かけてみる？」

「話しかけようか。おいそこのお前！！」

「俺か？……って駿に十代！！どうしてここに！？」

「たぶん理由は同じ。そんなことよりひと勝負しないか？」

「良いだろう。こっちに来い。」

「折角だから新しいデッキでやってみる。」

「新しいデッキ？」

「まあ、みてな。」

「「スタンドアップ・THE・ヴァンガード」」

GRADE 4 新たな先導者（後書き）

今回は書き方を変えてみました。

これで少しはゲームの状況が分かりやすくなったと思います。
感想待ってます！

GRADE 5 ばーくがる封印（前書き）

今後駿にはなるべくばーくがるは使わせません。

GRADE 5 ばーくがる封印

「「スタンドアップTHEヴァンガード!!」」

矢吹透FVリザートソルジャー・コンロー

古城駿FVどらんがる

TURN矢吹透

「俺のターン」 スタンド↓ドローライド

「鎧の化身バーにライド!!
コンローはかげろうがライドしたときリアガードサークルへ移動する。」

ライド↓メイン↓バトル↓エンド

右上 空

V 鎧の化身バー

左上 空

右下 空

真ん中下 リザートソルジャーコンロー

左下 空

「ターン終了」 透手札5

「僕のターンドロ」 スタンド↓ドローライド

「ライドフェイズ開始時どらんがるの効果で山札から五枚のカードを確認し、

その中に探求の騎士ガラハッドがあつた場合、スペリオルライドする。」

引いたカード

沈黙の騎士ギヤラティン

真理の騎士ゴードン

探求の騎士ガラハッド

まあるがる

斬魔の騎士ローエン格林

まあるがる

「探求の騎士ガラハッドにスペリオルライド！このライドフェイズ中にノーマルライドできない。」

ライド↓メイン

「湖の巫女リアンをコール。」

メイン↓バトル

右上 空

V 探求の騎士ガラハッド

左上 空

右下 空

真ん中下 湖の巫女リアン

左下 空

「リアンのブーストでガラハッドのアタック！」

探求の騎士ガラハッド POWER14000

「ドライブチェック」

引いたカード 小さな賢者マロン

「ダメージチェック」

透 DAMAGE 1

引いたカード ドラゴンナイト・ネハーレン

「ターン終了」

駿 手札 6

「俺のターン」

スタンド↓ドロ↓ライド

「ドラゴンナイトアリフにライド！」
ライド↓メイン

「槍の化身ター、鎧の化身バーをコール！
ドラゴンナイトアリフのカウンターブラスト（1）。
ターとバーをソウルに置き、勝利の化身アリフにスペリオルライド！
ドラゴニックオーバーロードをコール。
ドラゴンナイト・ネハーレンをコール。」

右上 ドラゴニックオーバーロード

V 勝利の化身アリフ

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 空

真ん中下 リザードソルジャー・コンロー

左下 空

「ドラゴニックオーバーロードでガラハッドを攻撃。」

「ダメージチェック。」
駿 DAMAGE 1

引いたカード スターライトユニコーン

「ネハーレンで攻撃。」

「ダメージチェック。」
駿 DAMAGE 2

引いたカード 大いなる賢者バロン

「コンローのブーストでアリフの攻撃！」

勝利の化身アリフ POWER 15000

「ツインドライブ!!」

引いたカード 槍の化身ター クリティカル
アイアンテイルドラゴン

「クリティカルトリガーゲット！」

「ダメージチェック。」
駿 DAMAGE 4

引いたカード ギガンテックチャージャー

武器商人 ゴヴァノン ドロー

「ドロトリガーゲット！カードを一枚ドロ！」

「ターンエンド。」 透 手札4

T U R N 駿

「僕のスタンド&ドロ！」 スタンド↓ドロ↓ライド

「探求の騎士ガラハッドの効果でデッキから五枚のカードを確認し、その中に試練の騎士ガラハッドがあった場合、スペリオルライドする。」

引いたカード ういんがる

ふろうがる

若年のペガサスナイト

ぼーんがる

ブラスター・ブレード

「……ガラハッドはない。

だが！試練の騎士ガラハッドにライド！」

ライド↓メイン

「ゴードンをコール、マロンをコール。」

右上 真理の騎士ゴードン

V 試練の騎士ガラハッド

左上 空

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 湖の巫女リアン

左下 空

メイン↓バトル

「マロンのブースト、ゴードンで攻撃！」

真理の騎士ゴードン POWER16000

「ダメージチェック。」

透 DAMAGE2

引いたカード ブレイジングコアドラゴン

「リアンのブーストでガラハッドの攻撃！」

試練の騎士ガラハッド POWER16000

「ドライブチェック！」

引いたカード 断罪の騎士ボールス

「ダメージチェック。」

透 DAMAGE3

引いたカード ワイバーンガードバリエ

「ターン終了」 バトル↓エンド

駿 手札5

「俺のターン、スタンド&ドロ」

スタンド↓ドロ→ライ

ド↓メイン

「アイアンテイルドラゴンをコール、希望の火エルモをコール。」

右上 ドラゴニックオーバーロード
V 勝利の化身アリフ
左上 ドラゴンナイト・ネハーレン
右下 アイアンテイルドラゴン
真ん中下 リザードソルジャー・コンロー
左下 希望の火エルモ

「アイアンテイルドラゴンのカウンターブラスト（1）。
これを二回発動し、パワー2000アップ！」

アイアンテイルドラゴン POWER9000

「勝利の化身アリフの効果でソウルからター、バー、ドラゴンナイトアリフをドロップゾーンに置き、
ダメージをすべて表にする。

そして、アイアンテイルドラゴンのカウンターブラスト（1）を更に発動。パワー+1000」

アイアンテイルドラゴン POWER10000

「アイアンテイルドラゴンのブーストで、オーバーロードの攻撃！」

ドラゴニックオーバーロード POWER21000

「エポナとぼーんがるでガード！」

幸運の運び手エポナ&ぼーんがる SHIELD15000

ドラゴニックオーバーロード POWER6000

「エルモのブースト、ネハーレンで攻撃！」

ドラゴンナイト・ネハーレン P O W E R 1 6 0 0 0

「ゴードンでインターセプト、このカードがインターセプトしたとき、ヴァンガードがロイヤルパラディンの時、シールドを5000アップさせる。」

真理の騎士ゴードン S H I E L D 1 0 0 0 0

ドラゴンナイト・ネハーレン P O W E R 6 0 0 0

「コンローのブーストでアリフの攻撃！」

勝利の化身アリフ P O W E R 1 5 0 0 0

「閃光の盾イズルデでガード、イズルデの効果で手札からモルガーナをドロップし、絶対防御！」

「ツインドライブ！！」

引いたカード 連撃のサザーランド

 ブレイジングフレアドラゴン

「ターン終了。」 バトル↓エンド 透 手札5

「僕のスタンド&ドロ」 スタンド↓ドロ↓ライド

「試練の騎士ガラハッドの効果でデッキから五枚のカードを確認し、

」
その中に神速の騎士ガラハッドが出た場合、スペリオルライドする。

引いたカード 探求の騎士ガラハッド

スターライトユニコーン

若年のペガサスナイト

未来の騎士リユ

神速の騎士ガラハッド

「神速の騎士ガラハッドにスペリオルライド！」

ライド↓メイン

「ボールスをコール、ギガンテックチャージャーをコール。

ギガンテックチャージャーの効果、デッキの一番上がロイヤルパラ
ディンだったとき、コールする。

といぶがるをスペリオルコール！更にガラハッドのカウンターブラ
スト（2）パワー+3000、
クリティカル+1。」

神速の騎士ガラハッド POWER14000 クリティカル2

右上 断罪の騎士ボールス

V 試練の騎士ガラハッド

左上 ギガンテック・チャージャー

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 湖の巫女リアン

左下 といぶがる

「といぶがるのブースト、ギガンテック・チャージャーでアリフを

攻撃！

といぶがるがブーストしたときG3のロイヤルパラディンが二体以上存在するとき、

パワー＋3000！」

といぶがる POWER9000

ギガンテック・チャージャー POWER18000

「サザーランドでガード、ネハーレンでインターセプト！」

連撃のサザーランド&ドラゴンナイト・ネハーレン SHIELD
10000

ギガンテック・チャージャー POWER8000

「マロンのブーストでボールスのアタック！

ボールスのカウンターブラスト（1）、パワー＋3000。」

断罪の騎士ボールス POWER21000

「ダメージチェック。」

透 DAMAG

E4

引いたカード バースードラゴン

「リアンのブーストで神速の騎士ガラハッドのアタック！」

神速の騎士ガラハッド POWER21000

「モニカと、ガンルーでガード！」

リザードソルジャーガンルー&ドラゴンダンサーモニカ SHIE
LD15000

神速の騎士ガラハッド POWER6000

「ツインドライブ！！」

引いたカード ブラスター・ブレード

未来の騎士 リュー クリティカル

「ゲット！クリティカルトリガー！！パワーとクリティカル、共に
ガラハッドに！」

神速の騎士ガラハッド POWER11000 クリティカル2

「ダメージチェック！」

引いたカード ガトリングクロードラゴン

封龍ブロケード

「トリガーなし」 透 DAMAGE6

WIN 古城駿

「負けた……。」

「まあ、楽しかったよ。」

「ガッチャ！二人とも面白いファイトだったぜ！！」

「ところで透はこれからどうするんだ？」

「ああ、俺は後江高校に転校するらしい。」

「後江高校？」

「櫛や三和の通ってる高校だ。」

「同じクラスだと良いな。」

「ちなみに僕はアイチと同じ学校で、十代はそこで体育教師をやっている。」

「十代が教師か……。その学校、大丈夫か？」

「まあ、頑張ってると思うよ。」

「じゃ、そろそろ時間だし帰ろうか。」

こうしてとても長い一日が終わった。

GRADE 5 ばーくがる封印（後書き）

ガラハッドを使っているところは触れないでいただきたい・・・。

次回はかなり飛んでシヨップ大会にします。そんなに長くはならないと思います。

明日も更新できるかな・・・。

GRADE 6 ショップ大会（前書き）

前々回くらいから内容をかなり細かくしてみました。

これによって投稿にかなり時間がかかるようになったので次回から一話を二つに分けることにしました。

一話あたりアニメのAパート、Bパートと思っていたけると良いです。

今回は視点がコロコロ変わりますのでご注意ください。

GRADE 6 ショップ大会

SIDE先導アイチ

今日は遂にショップ大会だ。絶対に權君ともう一度戦うんだ！

そういえば駿君や透君は出ないらしい。遊城先生も。なんでだろう？

SIDE古城駿

確かこの大会がチーム決めだったはず。流石にそこへ我々が乱入するのはよくないと思う。

かといって何もしないのも小説的にまずいからひとつ作戦をとってみた。

どんな作戦かって？それはまだ秘密だ。

そういえば小説的になってどういう意味だ？

SIDE十代

ちえ、大会に出たかったのに……。あれからルールも頑張って全部覚えて、大会に出れるようにしたのに……。

駿と透に大会に出たいって言ったらダメって言われた。

そういえばあの時の二人の表情の変わり様は凄かったな。

でも本当になんでダメなんだろう。

けど、アイチと井崎と森川が大会に出るって言うから応援に来た。

自分の生徒の応援くらい言ってやらないとな！今日は野球部の顧問みたいな気分で店にいる。

でも野球部の顧問ってどんな気分なんだろう。

そういえば歴史のマーク先生もカード好きだったな。今度誘ってみよう！

[illegible]

SIDE 先導アイチ

勝った。マーク先S・・・じゃなかった忍者マスターMに勝って決勝トーナメントだ。

マーク先生。手合わせありがとうございました。でござる（笑）。

SIDE
權トシキ

つまらん。この程度で前回の優勝者とは・・・。おまけに決勝に出てる連中は戸倉以外全員実力はわかっている。

対して期待はできない。

「そういえば何故古城駿はこの大会に出ていないんだ？」

あいつはほかのに比べたらよっぽどましだからな。

後はアイチ。あいつはまだまだではあるが、成長はしてきている。もっと成長したら戦っていても良い。

[illegible]

SIDE 先導アイチ

いよいよ決勝トーナメント。絶対に樫君と戦うんだ！

そういえば次の試合でうまく行けば權君と当たれるんだ！

そうになったら頑張ろう！

そうじゃなくてもその次は權君だから絶対次は勝ちたい！

權君はつて？ 大丈夫！ 權君は絶対に負けないから！

SIDE 先導アイチ
次の相手はカムイ君か。カムイ君も凄く強いから気を引き締めてい
かないとね！

でも勝てば次は權君だから絶対に負けないんだ！

SIDE 葛木カムイ

次の相手はお兄さんか。

あつ読者の皆、はじめまして！

おれ、葛木カムイよろしくな！

SIDE 葛木カムイ

お兄さん、前より全然強くなってる。

俺もうかうかしてらんねえな！

SIDE
權
ト
シ
キ

「ファイナルターン！！」

「まだ、
終わりに
じゃない」

權トシキだ。戸倉ミサキ、どんなものかと思えばこの程度か。まあ、他よりはやるか。

「ボータックスドラゴンでアマテラスをアタック！」

戸倉ミサキ DAMAGE6

WIN 權トシキ

「勝者權トシキ君！」

SIDE 先導アイチ

權君が勝った！これで僕が勝てば次は・・・。
今はファイトに集中しよう。

「アイチお兄さん、このターンで終わらせてもらいますよ。」

絶対に防いでみせる！

「Mrインビンシブルにライド！」

なんで同じカードにライドするの？

「そしてソウルチャージ、俺のダメージゾーンはすべて表だから効果は使えない。」

十代「なあ、さっきのライドにしても今のソウルチャージにしてもなんの意味があるんだ？」

駿「見てわからないか？ソウルをためているんだ。そのためにさっきもガードにロックザウォール
明らかにクランの違うカードを使っていた。」

そして表のダメージは5、これは大技を狙う気だ。」

透「恐らくアイチがインビンシブルの効果知らない以上このターンがファイナルターンとなる。」

十代「大技？」

駿「カウンターブラスト5、ソウルブラスト8という無茶苦茶な発動条件で発動可能な効果だが、
発動すれば一撃でゲームエンドに持っていくだけの力を持っている。
かげろうのボータックスドラゴンにも強力な効果がある。」

十代「インビンシブルはどんな効果なんだ？」

透「見ていればわかる。」

「ラッキーガールでブースト、インビンシブルでアルフレッドを攻撃！」

「モルガーナでガードブラスター・ブレードでインターセプト！」

「ツインドライブ！ゲットスタンドトリガー！」

これまでか・・・。

「ダメージチェック」

引いたカード 世界中の巫女エレイン

「ヒールトリガーゲット！ダメージを1回復！」

「それではお待たせしました。カードキャピタルシヨップ大会、決勝戦です。

權トシキ君対葛木カムイ君。」

「スタンドアップ・ヴァンガード!」

「スタンドアップTHEヴァンガード!」

そして・・・。

「ファイナルターン!」

「バーのブースト、ドラゴニックオーバーロードでインビンシブルをアタック!」

「ラッキーガールでガード!」

「ツインドライブチェック、ファーストチェック」

「セカンドチェック!」

「クリティカルトリガーゲット!ドラゴニックオーバーロードにパワーとクリティカルを。」

「ダメージトリガーチェック。」

引いたカードバトルライザー

「THEENDだ。」

WIN 權トシキ

「カードキャピタルシヨップ大会優勝は權トシキ君！」

「さ、シヨップ大会優勝者が決まったわけですがここで重要なお知らせがあります。」

「今回の大会では優勝者が權トシキ君、準優勝が葛木カムイ君、BEST4が先導アイチ君と戸倉ミサキさんですが、この四人にはこれ。」

そう言って小さなポスターを取り出す。

「本当はもっと大きなポスターがあったんだけど、店長代理が破ちゃって……。」

井崎「おお！」

森川「凄えじゃん！」

マーク「ウォー！ファンタスティック！戸倉ミサキ、チャンピオンシップですよ！」

十代「チャンピオンシップってなんだ？」

駿「簡単に言うと、チーム戦の大きな大会だ。地区予選で始まって全国大会まである奴で、今回のシヨップ大会ではそのメンバーを選出する大会だったらしいな。」

十代「なら、なおさら出たかったぜ！」

駿「そこはすでに問題ない。僕と透で手を打つてある。」

店長「四人にはこの大会にカードキャピタル代表として出ていただきます！」

皆さん、この四人には盛大な拍手を！」

カムイ「アイチお兄さん！喜んでください！憧れのチャンピオンシップですよ！」

俺とお兄さんの晴れ舞台です！」

アイチ（つてことは僕が櫛君やミサキさんやカムイ君と肩を並べて
！？）

1	2	3
4	5	6
7	8	9
10	11	12
13	14	15
16	17	18
19	20	21
22	23	24
25	26	27
28	29	30
31	32	33
34	35	36
37	38	39
40	41	42
43	44	45
46	47	48
49	50	51
52	53	54
55	56	57
58	59	60
61	62	63
64	65	66
67	68	69
70	71	72
73	74	75
76	77	78
79	80	81
82	83	84
85	86	87
88	89	90
91	92	93
94	95	96
97	98	99
100	101	102
103	104	105
106	107	108
109	110	111
112	113	114
115	116	117
118	119	120
121	122	123
124	125	126
127	128	129
130	131	132
133	134	135
136	137	138
139	140	141
142	143	144
145	146	147
148	149	150
151	152	153
154	155	156
157	158	159
160	161	162
163	164	165
166	167	168
169	170	171
172	173	174
175	176	177
178	179	180
181	182	183
184	185	186
187	188	189
190	191	192
193	194	195
196	197	198
199	200	201
202	203	204
205	206	207
208	209	210
211	212	213
214	215	216
217	218	219
220	221	222
223	224	225
226	227	228
229	230	231
232	233	234
235	236	237
238	239	240
241	242	243
244	245	246
247	248	249
250	251	252
253	254	255
256	257	258
259	260	261
262	263	264
265	266	267
268	269	270
271	272	273
274	275	276
277	278	279
280	281	282
283	284	285
286	287	288
289	290	291
292	293	294
295	296	297
298	299	300
301	302	303
304	305	306
307	308	309
310	311	312
313	314	315
316	317	318
319	320	321
322	323	324
325	326	327
328	329	330
331	332	333
334	335	336
337	338	339
340	341	342
343	344	345
346	347	348
349	350	351
352	353	354
355	356	357
358	359	360
361	362	363
364	365	366
367	368	369
370	371	372
373	374	375
376	377	378
379	380	381
382	383	384
385	386	387
388	389	390
391	392	393
394	395	396
397	398	399
400	401	402
403	404	405
406	407	408
409	410	411
412	413	414
415	416	417
418	419	420
421	422	423
424	425	426
427	428	429
430	431	432
433	434	43

その夜

十代「くっそ、俺も出たかったなチャンピオンシップ。」

透「文句言うな。シヨップ大会に出なかつた俺たちがカードキャピタル代表で出る資格はない。」

十代「俺は出たかったのに！」

駿「その件はすでに手は打ってあると言ったはずだ。こいつを見ろ。」

そう言って手紙を見せる

十代「なにになに？古城駿、矢吹透、遊城十代の三名は特例としてチャンピオンシップ地区大会に参加することを許可する。何だこれ？」

透「見てわからないか？これで俺たち三人でチームを組んでチャンピオンシップに参戦できるということだ。」

十代「それってもしかして・・・。」

駿「僕たちもチャンピオンシップに出る。ということだ。」

十代「よっしゃー！でもどうやって？」

透「このあたりでも地区予選はたくさん行われている。」

その中で席が空いている地区を選んで挑戦状をたたきつけた。」

駿「その後僕と透で向こうの選んだファイターを10人連続でボコボコにしたら許可してもらった。」

十代「何それ！？でもそれだったら駿と透だけの筈だろ。」

透「チーム戦は三人で一チームだ。もう一人選んで同じチームで出ているか、と頼んだら快くOKしてくれた。」

十代「ありがとう二人とも！！」

駿「もうじき大会だ。この地区・・・つまりアイチたちのチームの地区で去年優勝したチーム男前の本拠地に殴りこみに行こうと思う。」

」

十代「殴りこみ!？」

透「練習試合みたいなものだ。向こうがOKしてくれたら良いが、最悪十代にチーム男前のリーダー、大文字ゴウキのファイトを見るだけはみておいてもらいたい。全国レベルがどんなものかを知るためにな。」

駿「權も恐らく全国レベルだが、あいつは全国でも別格の筈。あんなの見たら帰って参考にならない。」

透「と、言うことだ。来週中に本拠地を見に行く。良いな。」

十代「おう!」

GRADE 6 ショップ大会（後書き）

今回でショップ大会が終わり、次回はチーム男前のショップに行きます。

次回かその次から一話二部構成にします。

ただし、一話でファイトが終わるとは限りません。

また、ファイトがない回だったり「スタンドアップTHEヴァンガード」

「ファイナルターン!!!」で終わったりする場合は一話で終わることが多くなります。

GRADE 7 海賊見学

「アイチ、何やってんだ？」

「あ、矢吹さん！」

「透で良いのに……。」

「いや……大会終わっちゃったんだって。」

「そうか。俺たちは出なかったからあまり実感わかないが、そんなもんか。」

「くっそ、俺は權の奴を倒せなかったことだけが心残りだ！」

「あっカムイ君！」

「僕は楽しかったよ。でも負けるとやっぱり悔しいな。」

「だったら、他のショップで武者修行してくればいいですよ。」

「え！？他のショップ！？」

そういうとミサキさんが睨んでくる。

「二人とも、店でライバル店の話はしないほうがいい。そういう話はせめて外でやったほうが身のためだ。」

「そ……そうみたいだね。」

「ちょっと外行きでしょうか。」

「で、他の店ってのはカードショップ男前のことか？」

「知ってるのか!？」

「まあ、去年この地区で優勝したところだし。」

「それでそこに行きましょうよ!お兄さん!」

「カムイ君!連れてってくれるの!？」

「ええ、あつ（そういえばあの店にはあいつが……。でもお兄さんと約束しちゃったし……。）
ま・まああいつもいつもいるとは限らねえ。いや、今日はきっといない!」

「もしよかったら俺たちも連れて行ってもらおうか。名前は知っているが場所が分からなくてな。
今から駿と十代を呼ぶから。大会に向けて。」

「「大会に向けて!？」」

「ああ、言っていなかったか。俺たちもフリーで出る。推薦枠扱いでな。

そのために、全く経験のない十代に全国レベルを見せてやりたくてな。
ちなみにチームは俺と駿と十代だ。」

何故って、そりゃ海賊みたいなのがいっぱいいるから。
こんな怖い店だったんだ……。

「お！カムイじゃねえか！？久しぶりだなあ。」

「シー！」

そう言ってカムイは周りを見渡す。

そして少し安心したようだ。

「ゴウキいる？」

「もちろんいるよ。船長！カムイですよ！」

「あれがチーム男前、俺たちが地区大会で倒さなきゃならない相手
つすよ。」

「十代、よく見ておけ。あれが去年の地区優勝者だ。」

「何かすっげー迫力ある！」

「俺は大文字ゴウキ、こっちは中津川ひろし、小松原カオルだ。
それよりカムイ、考えてくれたか？俺たちと同じチームで出てくれ
ることを。」

「何度も言ってるだろ。俺はアイチお兄さんと一緒にカードキャピ
タル代表として出るって。」

今度の地区大会でお前らを倒す！」

「そうか、お前の実力を買っているのに。」

「強い奴らと同じチームより、強い奴らと戦うほうがいいからですよ。」

「などとカッコつけているが本当は違うよな！」

「ジャッパーン！！」

小松原、あんたは何なんだ。

「カムイちゃん！」

そう言って一人の少女がカムイに抱きつく。いや、飛びつくと言ったほうが正しいか。

あれ、カムイ死んじゃうんじゃないかな。

「あっ！彼女か！」

そう言ってアイチが手をたたくが、どう見ても違うだろ。少なくとも僕はロケットとお付き合いするのはごめんだね。

「なぎさ、もう小学四年生になったから結婚できるの！」

「お前たちが愛し合ってるのはわかるがそんなこと誰が教えたんだよ！？

いいか、日本の法律では男は18、女は16にならないと結婚できねーんだよ！

それに仮にできたとしてまだお前たちは社会的にも経済的にも自立してないだろ！

だいたいなあ……。」

「駿、言いたいことはわかるが少し落ち着け。」

こう見えても僕はルールには結構うるさいんだよ!!

まあ、アカデミアにいた時は何度か校則破ったこともあるが……。

「駿さん、俺はこいつのこと別に愛してなんか……。」

「ひょっとしてチーム男前に入らなかった理由って……。」

「ご明察道理! カムイはなぎさが苦手なんだよ。」

「ジャッパ〜ン!」

だから小松原、あんたは一体何なんだ!?

「うんうん。好きなだけ抱きつくの良い、我が妹よ。」

もしかして結婚年齢勘違いしてるのってこいつのせいなのか?

「妹はいるか?」

「ええ、ぼくにはいます。」

「そうか、同志だったか。妹は何をしても許せる。そうだろ。」

こいつ典型的なあれだな。何かは言わないがあれだな。

「えっ!? ああ、はい。」

「妹の笑顔を守るためなら俺は何でもする。妹を不幸にするやつは許さない!」

さっきまでの予想が確信に変わった。

結婚年齢の嘘教えてんの絶対こいつだ!

「離れろ!」

「やだ! カムイちゃん久しぶりだもん!」

「だったらこの際はっきり言っておく。

俺はお前のことなんか好きじゃねえ!」

「ガーン!!」

カムイ、それはいくらなんでもはっきり言いすぎだ。

僕も決して女の子に気を使えるほうではないが、せめてそのくらいは考えろ。

こんなひどい言われ方をして、ちよつとだけ彼女に同情するよ。

「聞こえない!!」

耳をふさいでそういう。

ダメだ。全言撤回。カムイに同情する。

成程、これならきつく言うのも頷ける。

「俺には好きな人がいるんだ!」

「それはなげさ!」

「違ってお前じゃない！」

そういうとゴウキはカムイの頭をつかむ

「おい、今の話は本当か？」

「ああ、俺の好きな人はここにいるアイチお兄さんのい・・・い・・・いもう・・・」

「何！？お前まさかこいつが好きなのか！？」

「「え！？」」

小松原と中津川、そんなに引いてやるなよ。

「違うってば！アイチお兄さんじゃなくて・・・。」

「カムイ、隠す必要はない。そういう趣味を持つ人だってたくさんいるんだ。

それは決して恥じることはないから堂々としていると良い。」

我ながら大人（元高校生）として適切なアドバイス！

「だ・か・ら！そんなんじゃないって！！」

「許せん・・・。」

そう言っただけのしとアイチの所に向かっていく。

まあ、こんな暑苦しい男どもに囲まれればそりゃアイチみたいな華奢な男に興味を持つのも・・・。

「收穫？」

「ああ、元々はうまくいけば男前メンバーのだけれどが戦うところが見たかったが、

それがチームリーダーの大文字ゴウキだ。

全国のレベルを知るにはちょうどいい。

よく見ておけ。」

「ああ、わかつたぜ。」

先導アイチVS大文字ゴウキ

「スタンドアップヴァンガード」

[illegible]

流石去年の優勝チームのリーダー、アイチ相手にかなり押している。デッキは見た目道理グランプルー。キャプテンナイトミストを利用した無限復活地獄。

正しくは無限ではないが。半永久的にできるってことだな。

「ツインドライブ！！クリティカルトリガーゲット！！」

アイチの負けだな。本当にアイチには主人公補正がないな。

「ダメージエック。・・・負けました。」

「俺が船長だ!!」

るわけではない。

これ以上は恐らく調べるのは困難だから、後は実践あるのみだが・
・」

「おう！絶対に勝ってやるぜ！」

「それから全国はもっと厳しいと思っておけ。」

「じゃあ今日は解散ってことで。」

GRADE 7 海賊見学（後書き）

今回もちゃんとしたファイトはありません。

次回はいよいよ地区大会。

次からはたぶん二部制。

GRADE 8

出陣! ? チームサティスファクション!!

(前書き)

今回は凄く短いです。

とりあえず第八話の前半ということ。

ただし、前にも言った通り、一話でファイトが終わる保証はありません。

GRADE 8

出陣！？チームサティスファクション！！

地区大会当日

「いよいよ今日が地区大会だ。

俺たちの地区は関東第四地区。アイチたち、チームQ4の一つ隣の地区だ。」

「説明は良いからとっとと作戦会議しようぜ！」

「ああ、そのつもりだ。だが先にルールを説明しておこう。

各チーム三人（先鋒、次鋒、大将）の三人でそれぞれ一試合、最終的に二勝したチームの勝ちだ。

ちなみにここ、関東第四地区では四回勝てば優勝だ。

覚えておけ。」

「そういえば駿、チームというからにはチーム名はあるのか？」

「ああ、チーム名は透と話し合った結果チームサティスファクションになった。」

「サティスファクション？」

「満足という意味だ。俺たちを満足させてくれよ！という意味を込めて。」

「カッコいいんだか何なんだか。」

「無駄話している暇はない。そろそろ開会式だ。

そういえば関東第三地区つまりアイチたちのブロックは何か有名な

実況が付いているらしい。」

「へえ、そうなんだ。」

— — — — —
— — — — —
— — — — —

「これよりヴァンガードチャンピオンシップ関東第四地区予選を開会します。」

「さて、最初はチーム爆炎だ。

順番を言っておくと最後は十代がいい。

十代の異常なまでの引きの良さはここぞって時に役に立つ。
だから最後は十代。」

「だったら最初は俺が行こう。圧倒的なパワーで押し切ってくれる
!!!」

「どっかで聞いたセリフだな。だったら二番目は僕だね。
二人で決めちゃおう!」

— — — — —
— — — — —
— — — — —

MC「さあ、いよいよ関東第四地区大会の一回戦第一試合が始まります。

第一試合は昨年ベスト4に入っているチーム爆炎。今年こそはその
実力で全国にいけるか!?
対するは謎の推薦枠で参戦!初登場、チームサティスファクション!

彼等是我々を満足させてくれるか!?!」

「これを一つずつ渡しておく。」

「手袋?」

「ヴァンガードファイトグローブだ。そこのマシンを使ってファイトをするときはこれが必要になる。」

「何かかっこいいな!」

「そこのクリスタルは惑星クレイのものとされているらしい。」

「時間だ。行ってくる。」

審判「一回戦チーム爆炎奥村哲治、チームサティスファクション矢吹透。」

先鋒戦開始!」

チーム爆炎VSチームサティスファクション

奥村哲治 矢吹透

「「スタンドアップ(THE)ヴァンガード」」

奥村哲治 ドラゴンエッグ

矢吹透 リザードソルジャーコンロー

TURN奥村哲治

「俺のターン、ドロー」 スタンド↓ドロー↓ライド

「ソニックノアにライド！ドラゴンエッグはリアガードに移動。
ターンエンド」

右上 空

V ソニックノア

左上 空

右下 空

真ん中下 ドラゴンエッグ

左下 空

ライド↓メイン↓バトル↓エンド 奥村哲治 手札5

TURN矢吹透

「俺のターン」 スタンド↓ドロ↓ライド

「アイアンテイルドラゴンにライド！
コンローはリアガードへ移動。」

ライド↓メイン

「ジャランをコール、バーをコール！」

右上 空

V アイアンテイルドラゴン

左上 鎧の化身バー

右下 空

真ん中下 ワイバーンストライクジャラン

左下

リザードソルジャーコンロー

メイン↓バトル

「コンローのブーストでバーのアタック!」

鎧の化身バー POWER 12000

「ダメージチェック!」

奥村哲治 DAM

AGE 1

引いたカード 暴君デスレックス

「ジャランのブーストでアイアンテイルドラゴンのアタック!」

「ドライブチェック!」

引いたカード 勝利の化身アリフ

「ダメージチェック!」

奥村哲治 DAM

AGE 2

引いたカード 鎧の化身バー

「ターンエンド」

矢吹透 手札 4

バトル↓メイン

「俺のスタンド&ドロ」

スタンド↓ドロ→ライド

「砲撃竜キャノンギアにライド！キャノンギアが出たとき、俺の場のリアガードを一体退却させる。

ドラゴンエッグを退却！ドラゴンエッグのカウンターブラスト（1）。

このカードを手札に戻す！」

ライド↓メイン

「ネハーレンをコール、バーをコールソニックノアをコール！」

右上 ドラゴンナイト・ネハーレン

V 砲撃竜キャノンギア

左上 ソニックノア

右下 鎧の化身バー

真ん中下 空

左下 空

メイン↓バトル

「バーのブーストでネハーレンのアタック！」

「ノーガードだ！」

矢吹透

D A M A

G E 1

引いたカード 希望の火エルモ

「キャノンギアのアタック！」

「ドライブチェック！ゲット！ドロートリガー。カードを一枚ドロ
ーし、

ソニックノアのパワーを＋5000。」

引いたカード ドラゴンダンサーモニカ

ソニックノア POWER13000

「ノーガード！」

矢吹透

D A M A

GE2

引いたカード ガトリングクロードラゴン ドロー

「ゲット、ドロートリガー！カードを一枚ドロロー！更にアイアンテイルドラゴンのパワーを5000アップ！」

アイアンテイルドラゴン POWER12000

「ソニックノアでアイアンテイルドラゴンをアタック！」

「ノーガード」

矢吹透

D A M A

GE3

引いたカード ワイバーンストライクテージャス

「ターンエンド」

GRADE 8

出陣！？チームサティスファクション！！

(後書き)

念のため前半終了時での場の確認

奥村哲治

DAMAGE 2

手札 四枚

右上 ドラゴンナイト・ネハーレン

V 砲撃竜キャノンギア

左上 ソニックノア

右下 鎧の化身バー

真ん中下 空

左下 空

矢吹透

DAMAGE 3

手札五枚

右上 空

V アイアンテイルドラゴン

左上 鎧の化身バー

右下 空

真ん中下 ワイバーストライクジャラン

左下 リザードソルジャーコンロー

こんな感じです。

この内容は次回の最初にも書くつもりです。
後編に続く。

GRADE 8

後編（前書き）

今回は後編です。

「俺のスタンド&ドロ―!」

スタンド↓ドロ―↓ライド

「ドラゴンナイトアリフにライド!」

ライド↓メイン

「槍の化身ターをコール!」

アリフのカウンターブラスト(1)でターとバーをソウルに置き、勝利の化身アリフにスペリオルライド!

ネハーレンをコール。更にコンローのカウンターブラスト(1)でこのカードを退却させ、

山札からG1以下のかげろうを手札に加える。鎧の化身バーを手札に加える。

ドラゴンナイトベルガーをコール。バーをコール。」

右上 ドラゴンナイト・ベルガー

V 勝利の化身アリフ

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 鎧の化身バー

真ん中下 ワイバーンストライクジャラン

左下 空

メイン↓バトル

「ネハーレンでアタック!」

「ダメージチェック!」

奥村哲治 D A M A

G E 3

「ジャランのブースト、アリフのアタック!」

勝利の化身アリフ P O W E R 1 6 0 0 0

「槍の化身ターでガード！ドラゴンナイト・ネハーレンでインターセプト！」

槍の化身ター&ドラゴンナイト・ネハーレン S H I E L D 1 5 0 0 0

勝利の化身アリフ P O W E R 1 0 0 0

「ツインドライブ！！」

引いたカード リザードソルジャー ガンルー 覚醒

ワイバーンガード・バリイ

「ゲット、スタンドトリガー！
ベルガーにパワーを、ネハーレンをスタンド！」

ドラゴンナイト・ベルガー P O W E R 1 3 0 0 0

「バーのブーストを受けたベルガーでVをアタック！」

ドラゴンナイト・ベルガー P O W E R 2 1 0 0 0

「翼竜スカイプテラと、ドラゴンモンク・ゲンジョウでガード！」

翼竜スカイプテラ&ドラゴンモンク・ゲンジョウ S H I E L D 1 5 0 0 0

ドラゴンナイト・ベルガー P O W E R 6 0 0 0

「ネハーレンでアタック！」

奥村哲治 D A M A G E 4

「ターンエンド」

バトル↓エンド

矢吹透 手札 4

「俺のスタンド、そしてドロ」

スタンド↓ドロ↓ライド

「暴君デスレックスにライド！」

ライド↓メイン

「翼竜スカイプテラをコール、ドラゴンエッグをコール！
そして鎧の化身バーを前に！」

右上 鎧の化身バー

V 暴君デスレックス

左上 ソニックノア

右下 空

真ん中下 翼竜スカイプテラ

左下 ドラゴンエッグ

「ドラゴンエッグのブーストでソニックノアのアタック！」

「ノーガードだ。」

矢吹透 D A M A G E 4

引いたカード 封龍ブロケード

「スカイプテラの支援で暴君デスレックスのアタック！」

「ワイバーンガード・バリイでガード！
バリイの効果でボーテックスドラゴンをドロップし、ヒットされない。」

「ツインドライブ！ゲット、スタンドトリガー！
ソニックノアをスタンド、バーにパワー＋5000」

引いたカード リザードランナー ナフド
ソニックノア

鎧の化身バー POWER13000

「バーでVに攻撃！」

「通そう。」

矢吹透 DAMAGE5

引いたカード ボーテックスドラゴン

「ターンエンド（後、一ダメージ）」

奥村哲治 手札2

「俺のスタンド&ドロロー！ スタンド↓ドロロー↓ライド↓メイン

「ファイナルターン！」

「何！？ファイナルターンだと！？（バカな！まだたったの四ダメージ、手札にはナフドとスカイプテラがある！）」

「ネハーレンを退却させ、ドラゴニックオーバーロードをコール！」

オーバーロードのカウンターブラスト(3) パワーを5000アップ!

更に、アイアンテイルドラゴンをコール!

ドラゴニックオーバーロード POWER16000

「アリの効果でソウルからドラゴンナイトアリフとターとバーをドロップし、ダメージゾーンをすべて表にする!」

表DAMAGE5

「アイアンテイルドラゴンのカウンターブラスト(1)。パワー+1000。これを五回使用する!」

アイアンテイルドラゴン パワー12000

「更にベルガーを退却させ、デュアルアックス・アークドラゴンをコール!

ジャランを退却させ、鎧の化身バーをコール!」

右上 デュアルアックス・アークドラゴン

V 勝利の化身アリフ

左上 ドラゴニックオーバーロード

右下 鎧の化身バー

真ん中下 鎧の化身バー

左下 アイアンテイルドラゴン

メイン↓バトル

「アイアンテイルドラゴンのブーストを受け、ドラゴニックオーバーロードでバーを攻撃！」

ドラゴニックオーバーロード P O W E R 2 8 0 0 0

「ドラゴニックオーバーロードはスタンド。今度はバーのブーストでアリフの攻撃！」

勝利の化身アリフ P O W E R 1 8 0 0 0

「ナ：ナフドでガード！」

勝利の化身アリフ P O W E R 8 0 0 0

「ツインドライブ！ゲット！スタンドトリガー！パワー5000はアリフに、そしてアイアンテイルドラゴンをスタンド！」

引いたカード ブレイジングコアドラゴン

リザードソルジャー ガンルー 覚醒

勝利の化身アリフ P O W E R 1 3 0 0 0 奥村哲治 D
A M A G E 5

「アイアンテイルドラゴンのブーストでドラゴニックオーバーロードの攻撃！」

対象はソニックノア！」

ドラゴニックオーバーロード P O W E R 2 8 0 0 0

「そしてスタンド。ドラゴニックオーバーロードでヴァンガードに

アタック！」

「ダメージエック・・・ゲット！！ヒールトリガー！！！！
デスレックスにパワー＋5000ダメージを一回復！」

引いたカード ドラゴンモンク・ゲンジョウ 治

暴君デスレックス POWER15000

「どうだ！（あと攻撃できるのはデュアルアックス・アークドラゴン
だけ。

パワー18000なら手札のスカイプテラでガードで
きる。

奴のダメージは5手札もたったの二枚。

リアガードはすべて退却させられてしまったか次に引
くカード次第では

俺の勝ちだ！）」

「お前は今こう思っている。デュアルアックス・アークドラゴンの攻
撃はしのぎ切れると。

だが、そうはいかない。

デュアルアックス・アークドラゴンのパワーは相手のリアガードが
二枚以下なら3000アップする！

そしてそこにバーのブーストがつく。つまりパワーは21000
となる！」

デュアルアックス・アークドラゴン POWER21000

「ば・・・パワー21000！？これではスカイプテラでガードで
きない！？」

「デュアルアックス・アークドラゴンでヴァンガードをアタック！」

「ダメージチェック……。トリガーなし。」

引いたカード 砲撃竜キャノンギア

奥村哲治 DAMAGE6

WIN 矢吹透

審判 〔勝者！チームサティスファクション、矢吹透！！〕

チームサティスファクションVSチーム爆炎

1

VS

0

「「よっしゃ！！ナイスファイトだったぜ透！！」」

「ああ、ありがとう。あそこでヒールトリガーが来るとは思わなかったが何とか勝つことができた。」

「何がなんとかだ。ファイナルターンってどや顔してたくせに。」

「ファイナルターンとは言ったがどや顔はしていない。」

「まあ、どちらにしても一勝だ。後は僕に任せろ。」

次で決めてくる。」

「ああ、任せた。」

「俺まで回したって良いんだぜ！」

「いや、長引かせるつもりはない。大会運営側のも協力しないとな。」

— — — — —
— — — — —
— — — — —

〔次鋒戦。チーム爆炎、長島竜我

チームサティスファクション古城駿。

試合開始！！〕

「〔スタンドアップ（THE）ヴァンガード！〕」

チーム爆炎VSチームサティスファクション

長島竜我 古城駿

長島竜我 リザードランナー・アンドウ

古城駿 どらんがる

— — — — —
— — — — —
— — — — —

SIDE矢吹透

現在会場は絶賛ドン引き中だ。まあ、こんな状況じゃそりゃ引くな。

現在場の状況

古城駿

右上 ブラストブレード
V 神速の騎士ガラハッド (効果二回使用済み)
左上 断罪の騎士ボールス
右下 若年のペガスナイト (パワー12000)
真ん中下 小さな賢者マロン
左下 ぼーるがる

手札3枚 ソウル7 DAMAGE5

長島竜我

右上 ドラゴンナイト・ネハーレン
V ドラゴンモンク・ゴクウ
左上 ドラゴンナイト・ネハーレン
右下 鎧の化身バー
真ん中下 希望の火エルモ
左下 空

手札2 ソウル3 DAMAGE4

TURN古城駿バトルフェイズ

「ファイナルターン!!!」

「ま・・・またファイナルターン宣言!?!」

「パワー12000のペガスナイトのブーストでブラスタブレードの攻撃!」

ブラスタブレード POWER21000

「ダメージチェック」

長島竜我 DAMAGE5

引いたカード 魔竜戦鬼ジョカ

「パワー17000のガラハッドにマロンのブー스트を加え攻撃！」

神速の騎士ガラハッド POWER25000

「ターとゲンジョウでガード！」

槍の化身ター&ドラゴンモンク・ゲンジョウ SHIELD20000

神速の騎士ガラハッド POWER5000

「ツインドライブ！」

引いたカード アルフレッド・アーリー

ぼーんがる

「よし、しのいだ！（後はインターセプトでしのげる！）」

「ぼーんがるのブーストでボールスのアタック！」

ぼーんがるの効果。僕のソウルのロイヤルパラディンが6枚以上ならパワー3000アップ！」

ぼーんがる POWER9000

「更にボールスのカウンターブラスト（1）。パワー+3000！」

断罪の騎士ボールス POWER22000

「パワー22000!? 二体のインターセプトでも防ぎきれない!」

「ボールスでヴァンガードを攻撃!」

「ダメージ・・・チェック・・・トリガーなし。」

引いたカード バースードラゴン

長島竜我 DAMAGE6

WIN古城駿

「あゝあ、相手相当へこんでるよ。」

「そりゃ二回もファイナルターンって言われた揚句当てられたらそりゃへこむか。」

「まあ、これでチームサテイスファクションの勝ちだ。もうすぐ二回戦だ準備しておけ。」

次の順番も今回と同じだ。

僕透の二人で決めてくる。これだけ。」

「また俺は最後か・・・ま、しょうがねえか。」

十代はかなりへこんでいた。

GRADE 8

後編（後書き）

一回戦はこれで終わりです。

次からは二回戦。

ちなみに今回の相手は今後出てくる予定はありません。

感想待ってます！それでは今回はここまで。ターン終了！

GRADE 9 二回戦 VS ノヴァグラップラー

MC 〔関東第四地区二回戦第一試合。〕

一回戦で初出場ながら圧倒的な強さを見せつけたチームサティスフ
アクション！

対するは、一回戦を何とか勝ちあがった二度目の登場、チーム日本
文化！

日本文化は全く関係ないが頑張ってくれ！

審判 〔二回戦チームサティスフアクション矢吹透、チーム日本文化
坂下直人。〕

先鋒戦開始！

チームサティスフアクションVSチーム日本文化

矢吹透 VS 坂下直人

「〔スタンドアップ（THE）ヴァンガード！！〕」

矢吹透 リザートソルジャー・コンロー

坂下直人 バトルライザー

TURN 矢吹透

「俺のターン」 スタンド↓ドロー↓ライド

「鎧の化身バーにライド！コンローはリアガードサークルへ！」

ライド↓メイン

「ターン終了だ。」

右上 空

V 鎧の化身バー

左上 空

右下 空

真ん中下 リザードソルジャー・コンロー

左下 空

矢吹透 手札5

「私のターン」 スタンド↓ドロー↓ライド

「タフボーイにライド！バトルライザーはリアガードへ！」

ライド↓メイン

「タフボーイをコール！」

メイン↓バトル

右上 タフボーイ

V タフボーイ

左上 空

右下 空

真ん中下 バトルライザー

左下 空

「Rのタフボーイでバーをアタック！」

「ノーガード！」

矢吹透 D A M A G E 1

引いたカード ドラゴンナイト・アリフ

「Vのタフボーイでバーをアタック！」

「これも通す。」

「ドライブトリガーチェック！トリガーなし。」

引いたカード ジェノサイドジャック 矢吹透 D A M A G E 2

引いたカード ドラゴンナイト・ネハーレン

「ターン終了」

バトル↓エンド

「俺のスタンド&ドロー」 スタンド↓ドロー↓ライド

「ブレイジングコアドラゴンにライド！」

ライド↓メイン

「アイアンテイルドラゴン、ガトリングクロードラゴンをコール。
ブレイジングコアドラゴンのカウンターブラスト（1）。
ガトリングクロードドラゴンとアイアンテイルドラゴンをソウルに置
く。」

「封じられた三体の破壊神、爆炎の力を得て蘇れ！ブレイジングフレアドラゴンにスペリオルライド！」

「そしてドラゴンアーマードナイト、ドラゴンナイト・ネハーレンをコール！」

バーをコール。」

メイン↓バトル

右上 ドラゴンアーマードナイト

V ブレイジングフレアドラゴン

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 鎧の化身バー

真ん中下 リザードソルジャー・コンロー

左下 空

「ネハーレンでヴァンガードをアタック！」

「ガードはしない。」 坂下直人 D A M A G
E 1

引いたカード 叫んで踊れる実況シャウト

「コンローのブーストでブレイジングフレアドラゴンのアタック！」

ブレイジングフレアドラゴン P O W E R 1 4 0 0 0

「ツインドライブチェック！」

引いたカード 鎗の化身ター

「ゲット、クリティカルトリガー！クリティカル＋1パワーはアー
マードナイトへ！
セカンドチェック！」

引いたカード 魔龍導師キンナラ 坂下直人 DAMAGE 3

引いたカード M r インビンシブル
ドグーメカニク

「バーのブースト、アーマードナイトでヴァンガードをアタック！」

「ダメージトリガーチェック！」 坂下直人 DAMAGE 4

引いたカード キングオブソード

「ターン終了」

矢吹透 手札 2
坂下直人 手札 5

「俺のターン」 スタンド↓ドロ↓ライド

「キングオブソードにライド！」 ライド↓メイン

「ジェノサイドジャックをコール。ジェノサイドジャックのカウン
ターブラスト（1）。

このカードの拘束を解除。

さらにタフボーイを後ろに下げハングリーダンプティをコール！
このカードがRに登場したときVがノヴァグラップラーならダメー

ジゾーンのカードを一枚表にする。」

右上	ハングリーダンプティ
V	キングオブソード
左上	ジェノサイドジャック
右下	タフボーイ
真ん中下	バトルライザー
左下	空

メイン↓バトル

「ジェノサイドジャックでヴァンガードをアタック！」

「そいつは通す。」

矢吹透 DAMAGE 3

引いたカード ガトリングクロードラゴン ドロー

「カードを1枚ドロー。ブレイジングフレアに+5000。」

ブレイジングフレアドラゴン POWER15000

「バトルライザーのブーストでキングオブソードの攻撃！
タフボーイの効果、パワー+3000。」

キングオブソード POWER16000

「ターでガード!!」

キングオブソード POWER6000

「ドライブトリガーチェック！クリティカルトリガー発動！」

引いたカード シャイニングレディ

「ハングリーダンプティにパワー5000&クリティカル+1！」

ハングリーダンプティ POWER14000 CRITICAL

2

「タフボーイのブーストでハングリーダンプティのアタック！」

ハングリーダンプティ POWER22000

「チェックTHEダメージトリガー！」

引いたカード ドラゴニックオーバーロード

ボーテックスドラゴン

「ターン終了だ。バトルライザーは山札に戻る。」

バトル↓エンド

坂下直人 手札2

「俺のスタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド↓メイン

「ファイナルターン!!」

「!？」

「コンローのカウンターブラスト(1)。このカードを退却させ、山札からG1以下のかげろうを手札に加える。

俺は魔龍聖母ジョカを手札に加える。

ジョカをコール。キンナラをコール。キンナラのカウンターブラスト(1)。

このカードをソウルに移動し、タフボーイを退却。

ブレijingフレアドラゴンとジョカのパワーは+3000。」

ブレijingフレアドラゴン P O W E R 1 3 0 0 0

魔龍聖母ジョカ P O W E R 9 0 0 0

「そしてブレijingフレアドラゴンのソウルブラスト(5)。

相手のリアガード一体を退却。

ジェノサイドジャックを退却させる。

これによりブレijingフレアドラゴンとジョカのパワーは更に+3000」

ブレijingフレアドラゴン P O W E R 1 6 0 0 0

魔龍聖母ジョカ P O W E R 1 2 0 0 0

「鎧の化身バーをコール。」

右上 ドラゴンアーマードナイト

V ブレijingフレアドラゴン

左上 ドラゴンナイト・ネハーレン

右下 鎧の化身バー
真ん中下 鎧の化身バー
左下 魔龍聖母ジョカ

メイン↓バトル

「バーのブーストでアーマードナイトのアタック！」

ドラゴンアーマードナイト POWER18000

「ダメージチェック。」 坂下直人 DAMAGE5

引いたカード クイーンオブハート

「バーのブースト、ブレイジングフレアドラゴンのアタック！」

「ツインブリーダーでガード！手札からシャイニンググレイをドロップし、完全防御！」

「チェックTHEドライブトリガー。」

引いたカード 魔龍導師ラクシャ クリティカル
鎗の化身ター クリティカル

「ゲット！クリティカルトリガーダブル！
+10000はネハーレンに、クリティカルもネハーレンに。」

ドラゴンナイトネハーレン POWER20000 CRITIC
AL3

「ジョカのブーストのもと、ネハーレンが行く!!」

ドラゴンナイトネハーレン P O W E R 3 2 0 0 0

「えっ!? ちょっ!? ひどっ!!」

「ひどくない。これが現実だ!」

「ダメージチェック。トリガーなし。」

引いたカード ツインブリーダー

ライオンヒート

アシュラカイザー

審判 〜〜・・・!?!? 勝者矢吹透!〜

チームサティスファクションVSチーム日本文化

1

V S

0

「よくやった、透。」

「まあな。あと1勝でこの試合も勝ちだ。

駿、負けるなよ。」

「僕も負けるつもりはない。」

「それにしてもさ、透お前やりすぎ。」

「まあ、気にしたら負けだ。權はもっとひどかったぞ。」

審判〔中堅戦　チーム日本文化坂下崇。　チームサティスファクシ
ヨン古城駿〕

「呼んでるみたいだから行ってくるね。」

「ああ。」

「兄の借りは返させてもらう。」

「あんたら兄弟だったんだ。ま、手加減はしないけどね。」

「「スタンドアップ（THE）ヴァンガード」」

GRADE 9 二回戦 VS ノヴァグラップラー (後書き)

チーム日本文化って・・・。

自分の頭の悪さに今更ながら嘆くこの頃・・・。

ということでチーム名&対戦相手のデッキ募集します！

GRADE 10

THE 中堅戦

「「スタンドアップ（THE）ヴァンガード」」

古城駿 FVどらんがる

坂下崇 FVバトルライザー

TURN古城駿

「僕のターン」 スタンド↓ドロー↓ライド

「どらんがるの効果。デッキの上から五枚確認し、その中に探求の騎士ガラハッドがあった場合、スペリオルライドする。」

小さな賢者マロン

世界中の巫女エレイン

ふろうがる

試練の騎士ガラハッド

沈黙の騎士ギヤラティン

「探求の騎士ガラハッドはない。
手札から湖の巫女リアンにライド。」

ライド↓メイン↓バトル↓エンド

右上 空

V 湖の巫女リアン

左上 空

右下 空
真ん中下 空
左下 空

「ターン終了だ」 古城駿 手札5

「俺のターン。」 スタンド↓ドロー↓ライド

「タフボーイにライド！バトルライザーはリアガードへ。」

ライド↓メイン

「叫んで踊れる実況シャウトをコール。」

右上 叫んで踊れる実況シャウト

V タフボーイ

左上 空

右下 バトルライザー

真ん中下 空

左下 空

「叫んで踊れる実況シャウトでヴァンガードをアタック！」

「ノーガードだ。」 古城駿 DAMAGE 1

引いたカード 孤高の騎士ガンスロット

「続いてタフボーイでヴァンガードをアタック！」

「ドライブトリガーチェック！」

引いたカード　シャイニングレディ　クリティカル

「クリティカルトリガー発動。パワーとクリティカルをタフボーイに。」

「ダメージトリガー。」　古城駿　DAMAGE3

引いたカード　探求の騎士ガラハッド

まあるがる　ドロー

「ゲット！ドロートリガー。パワーはヴァンガードへ、そして一枚ドロー。」

「ターン終了だ」

坂下崇　手札5

MC [坂下選手、序盤から猛攻で一気に3ダメージを与えました！]

「スタンド&ドロー」　スタンド↓ドロー↓ライド

「試練の騎士ガラハッドにライド！」

ライド↓メイン

「小さな賢者マロンをコール。焰の剣士バロミデスをコール。」

右上　焰の剣士バロミデス

V　試練の騎士ガラハッド

左上 空

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 空

左下 空

「マロンのブースト、バロミデスでヴァンガードを攻撃！」

焰の剣士バロミデス POWER17000

「ダメージチェック。」 坂下崇 DAMAGE1

引いたカード クイーンオブハート

「ガラハッドでヴァンガードをアタック！」

「受ける。」

「チェックTHEドライブトリガー！」

引いたカード アルフレッド・アーリー

坂下崇 DAMAGE2

引いたカード ツインブレイダー

「ターン終了だ。」

古城駿 手札4

「スタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「マジシャンガール・キララにライド！」

ライド↓メイン

「キングオブソード、クイーンオブハートをコール。」

右上 叫んで踊れる実況シャウト

V マジシャンガール・キララ

左上 キングオブソード

右下 バトルライザー

真ん中下 空

左下 クイーンオブハート

メイン↓バトル

「バトルライザーのブーストでシャウトのアタック！
バトルライザーの効果で更にパワー＋3000。」

叫んで踊れる実況シャウト POWER13000

古城駿 DAMAGE4

「マジシャンガール・キララでヴァンガードをアタック！」

「ドライブチェック！」

引いたカード ライオンヒート

古城駿 DAMAGE 5

引いたカード 断罪の騎士ボールス

「キララのカウンターブラスト（2）。アタックがヒットしたとき1枚ドローできる。」

「クイーンのブーストでキングのアタック！クイーンがキングの支援をしたときキングのパワーは更に
+4000。」

キングオブソード POWER 20000

「ふろうがでガード、バロミデスでインターセプト。」

キングオブソード POWER 5000

「ターン終了だ。バトルライザーは山札へ戻る。」

バトル↓エンド

坂下崇 手札5

「俺のターン。」 スタンド↓ドロー↓ライド

「ガラハッドの効果。デッキの上から五枚確認しその中に神速の騎士ガラハッドがあった場合、
スペリオルライドする。」

引いたカード 真理の騎士ゴードン

ぎろ

ぽーんがる

神速の騎士ガラハッド

大いなる賢者バロン

「神速の騎士ガラハッドにスペリオルライド！試練の騎士ガラハッドの効果。

このカードに神速の騎士がライドしたとき、二枚ソウルチャージする。」

「だが、神速の騎士ガラハッドはお前のソウルに探求の騎士ガラハッドがないからパワーが2000下がるはず。」

「生憎今日はいってるみたいだね、たった今ソウルチャージで探求の騎士ガラハッドが入った！」

「何！？」

ソウルに入ったカード 探求の騎士ガラハッド

ブラスタースブレード

「爆炎の騎士バロミデス、沈黙の騎士ギヤラティンをコール。」

右上 爆炎の騎士バロミデス

V 試練の騎士ガラハッド

左上 沈黙の騎士ギヤラティン

右下 小さな賢者マロン

真ん中下 空

左下 空

メイン↓バトル

「ギャラティンでヴァンガードをアタック！」

坂下崇 D A M A G E 3

「神速の騎士ガラハッドでヴァンガードをアタック！」

「シャイニングレディでガード」

「ツインドライブ！」

引いたカード まあるがる

「カードを一枚ドロ、バロミデスにパワー＋5000。
セカンドチェック！」

引いたカード 世界中の巫女エレイン 治

「ヒールトリガーゲット、ダメージを一枚回復。パワーはバロミデスに。」

古城駿 D A M A G E 4

爆炎の騎士バロミデス P O W E R 2 0 0 0 0

「マロンのブースト、バロミデスのアタック！」

バロミデスがアタックするとき、自分のロイヤルパディンのグレード3が二体以上なら

更に＋3000。」

爆炎の騎士バロミデス P O W E R 3 1 0 0 0

坂下崇 D A M A G E 4

「ターン終了。」

古城駿 手札5

「俺のスタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「ライオンヒートにライド！」 ライド↓メイン

「シャウトを後ろへ下げ、ハングリーダンプティをコール。
ハングリーダンプティのスキル、ダメージゾーンのカードを一枚表にする。」

ドグーメカニックをコール。ドグーメカニックのスキル。
ダメージゾーンのカードを一枚表にする。」

右上 ハングリーダンプティ

V ライオンヒート

左上 キングオブソード

右下 叫んで踊れる実況シャウト

真ん中下 ドグーメカニック

左下 クイーンオブハート

メイン↓バトル

「シャウトのブーストでハングリーダンプティのアタック！」

ハングリーダンプティ POWER16000

「ダメージトリガーチェック。」

引いたカード ふろうがる 覚醒

「スタンドトリガー発動！バロミデスをスタンド！パワーはガラハッドへ！」

神速の騎士ガラハッド POWER16000

「ドグーのブーストでライオンヒートのアタック！」

ライオンヒート POWER17000

「ギャラティンでインターセプト探求の騎士ガラハッドでガード！」

ライオンヒート POWER7000

「ツインドライブチェック！」

引いたカード ジェノサイドジョーカー

ツインブリーダー

「トリガーなし。」

続いてクイーンのブーストでキングのアタック！」

キングオブソード POWER20000

「閃光の盾イゾルデでガード。
イゾルデのスキル、手札からローエン格林をドロップし、完全
ガード！」

「ターン終了だ。」

坂下崇 手札4

「僕のスタンド&ドロ。」

「ファイナルターン！！！」

「！？」

「アルフレッドアーリーにライド！
アルフレッドアーリーのスキルでソウルからブラスタースタイルを
コールする。」

「ブラスタースタイルだ！？（そんなレアカードを持っていると
は・・・。）」

「ブラスタースタイルのカウンターブラスト（2）。

相手のG2以上のリアガードを退却させる！

キングオブソードを退却させる！

若年のペガサスナイトをコール！まああるがるをコール。まああるがる
をソウルへ移動。

アルフレッドアーリーのパワーを＋3000。

ペガサスナイトのスキル。

自分のメインフェイズ中にカードがソウルに入った時、パワー＋3
000」

若年のペガサスナイト P O W E R 9 0 0 0
アルフレッドアーリー P O W E R 1 3 0 0 0

「小さな賢者マロンをコール。」

右上 爆炎の騎士バロミデス
V 試練の騎士ガラハッド
左上 ブラスタースブレード
右下 小さな賢者マロン
真ん中下 小さな賢者マロン
左下 若年のペガサスナイト

「ペガサスナイトのブーストでブラスタースブレードのアタック！」
ブラスタースブレード P O W E R 1 8 0 0 0

「ラッキーガールでガード！」

ブラスタースブレード P O W E R 8 0 0 0

「マロンのブーストでアルフレッドアーリーのアタック!!」

アルフレッドアーリー P O W E R 2 1 0 0 0

「ツインブレードでガード! ツインブレードのスキルで手札から M r インビンシブルをドロップ。」

「ツインドライブチェック。」

引いたカード

未来の騎士リユウ クリティカル

神速の騎士ガラハッド

「クリティカルトリガーゲット！効果はすべてバロミデスに。」

爆炎の騎士バロミデス POWER15000

「マロンのブースト、バロミデスでヴァンガードをアタック！バロミデスのパワーは更に+3000」

爆炎の騎士バロミデス POWER26000

「ダメージチェック。」

引いたカード NGMプロトタイプ

タフボニー

「トリガーなし。」

坂下崇 DAMAGE6

古城駿 WIN

審判〔勝者！古城駿！これにより、二勝零敗でチームサティスファクションの勝利！〕

「やったぜ駿！！これでベスト4だ！」

「僕は優勝以外は目指していない。」

「ま、何にしてもあと二つで全国だ。

まず目先の目標を達成させるために頑張ろう。」

審判「準決勝、先鋒戦開始!!」

「「スタンドアップ（THE）ヴァンガード!!」」

GRADE 1 惨劇（前書き）

今回はほとんどファイトの描写は無しです。

慘劇

チームサテイスファクションV S チーム武士道

先鋒戦 矢吹透 V S 佐藤佑介

「「スタンドアップ（THE）ヴァンガード」」

[illegible]SIDE
先導アイチ

ふう。ようやく一回戦が終わった。危なかった。なんとか勝つことができた。

中堅戦は權君が一方的に倒してた。さすが權君！やっぱり權君は強い！

カムイ君は自分の出番がなくなっ
てしょんぼりしてるけど、ルー
ルだから・・・。

「そういえば駿君たちはどうなったんだらう？」

「店長！」

「お疲れ様です。どうしましたかアイチ君？」

右上 ドラゴニック・オーバーロード
V ブレイジング・フレアドラゴン
左上 ドラゴンナイト・ネハーレン
右下 ドラゴンモンク・ゴジョー
真ん中下 鎧の化身バー
左下 ドラゴンダンサー・ルルド

「ファイナルターン！」

「ドラゴニックオーバーロードでアタック！」

「ダメージトリガーチェック」

介 DAMAGE

佐藤佑

矢吹透WIN

・・・とまあこんな感じ。因みに現在僕の中堅戦は・・・。

右上 爆炎の騎士バロミデス
V 神速の騎士 ガラハッド
左上 焰の剣士バロミデス
右下 魂を導くエルフ
真ん中下 探求の騎士ガラハッド
左下 小さな賢者マロン

「クリティカル2となったガラハッドにガラハッドのブーストでアタック！」

神速の騎士ガラハッド POWER21000

「槍の化身ターでガード、バーサークドラゴンでインターセプト!」

神速の騎士ガラハッド P O W E R 6 0 0 0

「ツインドライブ・・・クリティカルトリガー!
効果は全てガラハッドへ。」

古川真澄 D A M A G E 6

古城駿 W I N

こんな感じ・・・。

次はいよいよ決勝戦。これに勝てば全国。次の相手は・・・。

チームFL4

「駿、こいつらはフーフファイターの下っ端連中らしい。

下っ端と言ってもそこその実力はあるからここもできているんだと・・・。

それともう一つ。チームQ4は初戦を勝ったらしい。」

「第三地区はまだ初戦なのか?」

「こっちは向こうより二時間以上早く始まったからな。」

「だったら決勝もはやいところ勝ってQ4の応援に行こう。」

「了解」

「じゃあ、決勝の順番を決める。先鋒戦は十代、中堅は僕、大将は透だ。文句はあるか？」

「特になし。」

「ようやく俺の番だ！暴れてくるぜ！」

「十代、別に負けてもかまわない。そのために先鋒戦に入れてあるんだ。」

「ま、どっちにしても俺は楽しむだけさ。」

「決勝戦、チームFL4VSチームサティスファクション。先鋒戦開始！」

「「スタンドアップ・ヴァンガード」」

十代のカードリスト（前書き）

このページは随時更新していきます。

前回ファイト内に出てきた時と少し違いますがこれはこれからありうることなのであらかじめご了承ください。

十代のカードリスト

GRADE POWER

E・HERO スパークマン 1 8000

E・HERO フェザーマン 0 5000

リティカル

E・HERO バーストレディ 1 6000

自【R】…「あなたの手札から1枚選び、捨

てる」こ

のユニットがブースト

したバトル中、アタックがヒッ

トした時、

コストを払ってよ

い。払ったら、1枚引く。

E・HERO バブルマン 0 4000

自【R】…このユニットがRに登場し

たときあなたの

Rに他のユニ

ットがいなければ2枚引く。

(ドロートリガー)

E・HERO ワイルドマン 2 8000

永【V/R】…このユニットがアタックした

バトル中、

あなたの《E・H

ERO》のヴァンガードがい

るなら、相手はグレード0のユ

マルコールで

ニットをGにノー

きない。

E・HEROフレイムウィングマン2

9000

起【手札】…あなたのRのフェザー

マンとバー

ストレディ

をソウルに置くことで

このユニットにライド

する。

自【V】…「あなたのソウルからフェ

ザーマンと

バーストレデ

イを取り除く」

このユニットがアタック

したときコストを

払って

よい。払ったらそのバト

ル中このユニットのクリ

ティカル+1

E・HEROサンダージャイアント 2

起【手札】…あなたのRのスパ

レイマンを

クマンとク

ソウルに置くことでこ

のユニットにライドす

る。

自 <CB2> このユニットがVに

登場

したとき相手の

R 一体を選択し退却

する。

フレンドック

0

自 他のHEROがこのユニットにラ

イドしたとき、

このカードをR

にコールしてよい。

起 <CB1> このユニットを退却さ

せる

ことであな

たのソウルにあるグレ

ード1以下のHERO

手札に加える。

一枚を

GRADE 12 地区大会決勝（前書き）

相手チームのチーム名をFL4にしました。

GRADE 12 地区大会決勝

FV

先行 遊城十代 フレンドック

後攻 高塚総次郎 案内するゾンビ

「成程。奴のデッキはグランブルーか・・・。」

「奴にあれを使いこなすだけの実力があれば厄介な相手だな。」

「やっぱり十代に決勝はきつかったか？」

「俺のターン」 スタンド↓ドロー↓ライド

「スパークマンにライド！ターン終了。」 ライド↓エンド

「俺のターン。」 スタンド↓ドロー↓ライド

「伊達男ロマリオにライド！」 ライド↓メイン

「サムライスピリットをコール。」

右上 サムライスピリット

V 伊達男ロマリオ

左上 空

右下 案内するゾンビ

真ん中下 空

左下 空

「案内するゾンビのブーストでサムライスピリットでアタック！」

「ノーガード！」

引いたカード E・HEROバブルマン 引

「ドロートリガー発動。一枚ドロ。ヴァンガードに+5000」

スパークマン POWER13000

「ロマリオでアタック！ドライブチェック！」

引いたカード 不死竜スカルドラゴン

「ターン終了。」

「スタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「E・HEROフレイムウィングマンにライド！」

「ワイルドマンをコール。エッジマンをコール。」 メイン↓バトル

右上 E・HEROワイルドマン

V E・HEROフレイムウィングマン

左上 E・HEROエッジマン

右下 空

真ん中下 フレンドック

左下 空

「ワイルドマンでアタック！」

「ノーガード」

高塚 DAMAGE 1

引いたカード 突風のジン

「フレンドックのブーストを受けたフレイムウィングマンでアタック！ドライブチェック」

引いたカード E・HEROスパークマン」

「ノーガード」

引いたカード キャプテンナイトミスト

高塚 DAMAGE 2

「エッジマンでアタック！」

高塚 DAMAGE 3

引いたカード モンスターフランク

「ターン終了。」

「俺のスタンド&ドロ」

スタンド↓ドロ↓ライド

「大幹部ブルーブラッドにライド！」

ライド↓メイン

「案内するゾンビをソウルに入れて効果発動。
山札から三枚をドロップゾーンに送る。」

落ちたカード スピリットイクシード

スケルトンの剣士

不死竜スカルドラゴン

「ナイトスピリットをコール。サムライスピリットとナイトスピリットをソウルに置きドロップゾーンからスピリットイクシードにス
ペリオルライド！」 メイン↓バトル

右上 空

V スピリットイクシード

左上 空

右下 空

真ん中下 空

左下 空

「スピリットイクシードでヴァンガードをアタック！」

「ノーガードだ！」

「ツインドライブチェック」

引いたカード 荒海のバンシー クリティカル

ルインシールド

「クリティカルトリガー発動。効果はすべてヴァンガードに！」

スピリットイクシード P O W E R 1 5 0 0 0

クリティカル2

「ダメージチェック。一枚目。二枚目！」

引いたカード E ・ H E R O クレイマン

E ・ H E R O サンドージャイアント

「ターン終了。」

現在の状況

十代 手札5 D A M A G E 3

高塚 手札5 D A M A G E 3

GRADE 12 地区大会決勝（後書き）

今回はここまで。次はいつかなあ。明日には更新したいです。

GRADE 13 新たなる切り札（前書き）

今回、試しに書き方を変えてみました。

GRADE 13 新たなる切り札

「俺のスタンド&ドロー。」

スタンド↓ドロー↓ライド

「E・HEROネオスにライド！」

「N・（ネオスペーシアン）フレアスカラベをコール。」

N・フレアスカラベ

GRADE 1 POWER 6000 SHIELD 5000

「V/R」あなたのターン中相手のリアガード一体につきこのユニットのパワー+2000

「R」（CB1）〔起〕あなたのメインフェイズ時あなたのVがカード名に「ネオス」を含むカードなら

コストを払ってよい。

払ったらそのターン中あなたのVのパワーはこのユニットのパワー分アップする。

この効果はそのターン中一度しか発動できない。

E・HEROネオス

GRADE 3 POWER 9000 SHIELD なし

「V」（CB2）〔起〕あなたのカード名に「N」ネオスペーシアンを含むRを1体以上選択しソウルに置く。

その後そのカードを素材とするカード名に「ネオス」を含むユニットを山札から一枚探し

ライドする。

「フレアスカラベのスキル、カウンターブラスト（1）。このカードのパワーつまり6000ポイントネオスのパワーをアップさせる。」

E・HEROネオス POWER15000

駿「いいぞ！これならネオスのパワー不足を補える！」

左

V

右

E・HEROエッジマン E・HEROネオス
HEROワイルドマン E・

空き

フレンドッグ

N・

フレアスカラベ

メイン↓バトル

「エッジマンでヴァンガードをアタック！」

「それは通す。」

引いたカード 大幹部ブルーブラッド

「フレンドッグのブーストでネオスのアタック！」

E・HEROネオス POWER20000

「突風のジンで完全ガード、モンスターフランクをコストに！」

「ツインドライブ一枚目、二枚目！」

引いたカード E・HEROスパークマン

E・HEROクレイマン

「フレアスカラベのブーストでワイルドマンのアタック！」

ワイルドマンがアタックするとき相手はグレード0のユニットでガードできない。」

ワイルドマン POWER14000

「それは受ける！」 高塚 DAMAGE5

引いたカード お化けのチャッピー

「ターン終了。」 十代 手札六枚

「俺のスタンド&ドロー！」 スタンド↓ドロー↓ライド↓メ
イン

「ダンシングカットラスをコール、スキル発動ソウルブラスト（
2）。

一枚ドロー！」

高塚総次郎 ソウル3

「キャプテンナイトミストのカウンターブラスト（1）。カットラ
スをコストにスペリオルコール。

更にもう一体カットラスをコール。ソウルブラスト（2）で一枚ド
ロー。」

高塚総次郎 ソウル1

「不死竜スカルドラゴンのスキル、キャプテンナイトミストを退却させスペリオルコール。」

サムライスピリットのスキル（CB1）カットラスを退却しスペリオルコール。

ルインシェイドをコール。」

左

V

右

不死竜スカルドラゴン

スピリットイクシード

ルインシェイド

サムライスピリット

空き

空き

「ルインシェイドでヴァンガードをアタック！ルインシェイドのスキル。」

山札から二枚をドロップゾーンに送りパワー+2000。」

ルインシェイド POWER11000

落ちたカード

スケルトンの見張り番

魔の海域の王バスカーク

「ダメージチェック。」

引いたカード E・HEROサン

ダージャイアント

十代 DAMAGE4

「スピリットイクシードでヴァンガードをアタック！」

「クレイマンでガード！」

E・HEROクレイマン

GRADE1 POWER6000 SHIELD0

自…「あなたの手札から《HERO》を1枚選び、捨てる」このユニツ

トがGに登場した時、コストを払ってよい。払ったら、そのバトル中、あな

たの《HERO》はヒットされない。

「手札のスパークマンをコストに完全ガード！」

「ツインドライブ！」

引いたカード ナイトスピリット クリティカル

深淵の呪術師ネグロマール

「クリティカルトリガー！効果はすべてスカルドラゴンへ！そしてスカルドラゴンでアタック！

スカルドラゴンはヴァンガードにグランブルーがいるときパワー＋3000！」

不死竜スカルドラゴン POWER25000

「くっ、ノーガードだ！」 十代 DAMAGE5

引いたカード

E・HEROワイルドマン

E・HEROバブルマン

引

「ドロトリガー！ヴァンガードにパワー＋5000し一枚ドロ
！」

E・HEROネオス POWER14000

「ターン終了だ」

高塚 手札4

「俺のスタンド&ドロ」 スタンド↓ドロ↓ライド↓メイン

「ネオスの効果！カウンターブラスト（2）。

フレアスカラベをソウルに置くことで、

そのカードとネオスを素材とするネオスと名のつくユニットにライ
ドする！」

「これなら手札を使わずにヴァンガードを育てることができる！」

「俺は山札からE・HEROフレアネオスにスペリオルライド！」

十代 手札6

高塚 手札4

ダメージはお互いに5

GRADE 13 新たなる切り札（後書き）

今回はここまで。

GRADE 14 聖なる龍（前書き）

今回は十代の残りと駿のファイトを詰め込みました。

GRADE 14 聖なる龍

左	V	右
E・HEROエッジマン		E・HEROフレアネオス
EROワイルドマン		E・H
空き	フレンドッグ	空き

左	V	右
空き	スピリットイクシード	ルインシェイド
サムライスピリット	空き	空き

「フレンドッグのスキル、カウンターブラスト（1）。このユニットを退却させソウルからグレード1以下のE・HERO一枚を手札に加える。ソウルからスパークマンを手札に加える。そしてスパークマンをコール。バーストレディをコール。クレイマンをコール。」

左	V	右
E・HEROエッジマン		E・HEROフレアネオス
E・HEROワイルドマン		
E・HEROバーストレディ		E・HEROクレイマン
E・HEROスパークマン		
メイン↓バトル		

「バーストレディのブーストでエッジマンのアタック！」

E・HEROエッジマン POWER16000

「ナイトスピリットでガード！」

E・HEROエッジマン POWER6000

「クレイマンのブーストでフレアネオスのアタック！」

フレアネオスのスキル、このユニットは自分のターン中お互いの後列にいるリアガード一体につき

1000アップする！」

E・HEROフレアネオス

GRADE3 ATK10000 SHIELD0

永…このユニットがVに存在するときあなたのターン中このカードのパワーはお互いの後列にいるR×1000

アップする。

自…このユニットがE・HEROネオスの効果でライドしたときあなたのエンドフェイズ開始時に

このユニットは山札に戻り、その後あなたの手札、ソウル、山札、ドロップゾーンから

E・HEROネオスを一枚までさがしライドする。

その他まだまだ効果あり

E・HEROフレアネオス POWER20000

「お化けのリックでガード、ルインシェイドでインターセプト！」

「ツインドライブチェック！」

引いたカード

E・HEROネオス

E・HEROスパークマン

「これで終わりだ！スパークマンのブーストでワイルドマンのアタック！」

「まだだ！荒海のバンシーで防御！」

「いや、それは無理だぜ！」

「しまった！？」

「ワイルドマンがアタックするときグレード0のカードでガードできない。」

E・HEROワイルドマン POWER16000

「だ・・ダメージチェック。」

引いたカード キャプテンナイトミスト

高塚総次郎 DA

MAGE6

十代 WIN

「勝者、サテイスファクション遊城十代！」

[illegible]

「よっしやあ！俺の勝ちだぜ！」

「これであと一つ勝てば優勝だ！」

「さてと・・・透、お前には絶対に回さない。」

「中堅戦、古城駿VS小川健太郎。」

「スタンドアップ（THE）ヴァンガード！！」

$$\frac{F}{V}$$

スターダストランペッター

小川健太郎 案内するゾンビ

先行古

城駿

透「スターダストランペッター!？」

十代「透、どうした？」

透「決勝が始まる前にガラハッドのせいでカードのロットが埋まりすぎたからちょっと変えてみたいって・・・。

それでいつその事スターダストランペッターにしたらどうだ？
なんて言ったら本当にやりやがった・・・。」

十代「大丈夫だって。あいつなら絶対に勝つから。」

透「だと良いけど・・・。」

「僕のターンドロ、小さな賢者マロンにライド！ターン終了。」
スタンド↓ドロ↓ライド↓エンド

「俺のターンドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「伊達男ロマリオにライド、案内するゾンビはリアガードへ。」

ライド↓メイン

「サムライスピリットをコール。」

左 V 右

サムライスピリット 伊達男ロマリオ 空き

案内するゾンビ 空き 空き

「案内するゾンビでブーストしたサムライスピリットでアタック！」

サムライスピリット POWER12000

「ノーガード。」 古城駿 DAMAGE1

引いたカード 沈黙の騎士ギャラティン

「ロマリオでアタック！」

伊達男ロマリオ POWER8000

「ノーガード。」

「ドライブチェック！」

引いたカード 荒海のバンシー クリティカル

「クリティカルトリガーゲット！効果はすべてロマリオへ！」

伊達男ロマリオ POWER8000

古城駿 DAMAGE3

引いたカード 孤高の騎士ガンスロッド

ハイドッグブリーダーアカネ

「ターン終了」 小川健太郎 手札5

「僕のスタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「立ち上がれ、光の戦士！ライド、ブラスターストレード！」

「ブラスターストレードだと！？」

「ブラスターストレードのカウンターブラスト（2）。相手のリアガード一体を退却させる！」

案内するゾンビを退却させる。ピンポイントバースト！」

案内するゾンビ↓退却

「沈黙の騎士ギャラティン、大いなる賢者バロン、若年のペガサスナイト、まあるがるをコール！」

まあるがるのスキル。このカードをソウルに移動させ、ギャラティ

ンのパワー＋3000。」

沈黙の騎士ギャラティン P O W E R 1 3 0 0 0

「更にバロンとペガサスナイトは自分のメインフェイズ中にカードがソウルに入るとパワー＋3000。」

大いなる賢者バロン P O W E R 1 1 0 0 0
若年のペガサスナイト P O W E R 9 0 0 0

左

V

右

大いなる賢者バロン ブラストーブレード 沈黙の騎士ギャ
ラティン

若年のペガサスナイト

空き

空き

メイン↓バトル

「ブラスターブレードでヴァンガードをアタック！」

「それは受けよう。」

「ドライブチェック！」

引いたカード アラバスターオウル クリティカル

「クリティカルトリガー発動、＋5000をギャラティンに。クリティカルはブラスターブレードへ！」

「ダメージチェック。」

引いたカード スピリットイクシード

お化けのチャッピー

小川健太郎 DAMAGE2

「ギャラティンでアタック！」

沈黙の騎士ギャラティン POWER18000

「スケルトンの見張り番とサムライスピリットでガード！」

沈黙の騎士ギャラティン POWER3000

「ペガサスナイトのブーストでバロンのアタック！」

大いなる賢者バロン POWER20000

「ノーガード。」

引いたカード 大幹部ブルーブラッド

「ターン終了。」 古城駿 手札2

「俺のスタンド&ドロ！」 スタンド↓ドロ↓ライド

「キャプテンナイトミストにライド！イービルシェイドをコール！」

左

V

右

サムライスピリット

キャプテンナイトミスト

空き

イービルシェイド

空き

空き

「イービルシェイドのブーストでサムライスピリットのアタック！イービルシェイドがブーストするとき山札から二枚をドロップゾーンへ送ることでパワー＋3000。」

サムライスピリット 16000

落ちたカード キャプテンナイトミスト

ダンシングカッター

「ノーガード。」

引いたカード まあるがる 引

「ドロトリガー。パワーはブラスターブレードへ。そして一枚ドロ。」

ブラスターブレード POWER14000

「キャプテンナイトミストでヴァンガードをアタック！

ヴァンガードのキャプテンナイトミストがアタックするときドロップゾーンにキャプテンナイトミストがいたら

パワー＋3000。」

キャプテンナイトミスト POWER11000

「アラバスターオウルでガード！」

キャプテンナイトミスト POWER1000

「ドライブチェック。」

引いたカード 魔の海域の王バスカーク

「トリガーなし。ターン終了。」

小川健太郎 手札3

「僕のスタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「斬魔の騎士ローエン格林にライド！ローエン格林のスキルで
ソウルチャージ（1）。
ローエン格林のパワー+2000。
この瞬間バロンとペガサスナイトはパワー+3000。」

斬魔の騎士ローエン格林	POWER12000
大いなる賢者バロン	POWER11000
若年のペガサスナイト	POWER9000

「ぼーんがるをコール。ぼーんがるのスキル。カウンターブラスト
（1）！」

このカードをソウルに置き、山札からソウルセイバードラゴンを手札に加える。

これによりバロンとペガサスナイトはパワー+3000。」

大いなる賢者バロン	POWER14000
若年のペガサスナイト	POWER12000

「魂を導くエルフをコール。」

左

V

右

大いなる賢者バロン

斬魔の騎士ローエンダリン

沈黙の騎

士ギアラティン

若年のペガサスナイト

空き

魂を導く

エルフ

メイン↓バトル

「ペガサスナイトのブーストでバロンのアタック！」

大いなる賢者バロン P O W E R 2 6 0 0 0

「それは受けます。」

小川健太郎 D A M A G E 4

「ローエンダリンでアタック！」

斬魔の騎士ローエンダリン P O W E R 1 2 0 0 0

「スケルトンの見張り番でガード！」

斬魔の騎士ローエンダリン P O W E R 2 0 0 0

「ツインドライブ！」

引いたカード 小さな賢者マロン

閃光の盾イズルデ

「エルフのブーストでギアラティンのアタック！」

沈黙の騎士ギアラティン P O W E R 1 7 0 0 0

「それも受けます。」

小川健太郎 DAMAGE 5

「ターン終了。」 古城駿 手札 4

「俺のスタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「魔の海域の王バスカークにライド！バスカークのスキルでソウルチャージ（1）。

バスカークのパワー+2000。」

魔の海域の王バスカーク POWER 12000

「キャプテンナイトミストのカウンターブラスト（1）。

サムライスピリットを退却させ、キャプテンナイトミストをコール。大幹部ブルーブラッドをコール！」

左

V

右

キャプテンナイトミスト

魔の海域の王バスカーク

大幹部ブ

ルーブラッド

イービルシェイド

空き

空き

メイン↓バトル

「ブルーブラッドでヴァンガードをアタック！」

「ギャラティンでインターセプト！」

大幹部ブルーブラッド P O W E R 5 0 0 0

「魔の海域の王バスカークでアタック！」

魔の海域の王バスカーク P O W E R 1 2 0 0 0

「アルフレッドアーリーをコストに閃光の盾イゾルデで完全ガード！」

魔の海域の王バスカーク P O W E R 0

「ツインドライブチェック！」

引いたカード モンスターフランク

突風のジン

「イービルシェイドのブーストでキャプテンナイトミストのアタック！」

イービルシェイドのスキルで山札から二枚をドロップゾーンへ！」

落したカード ナイトスピリット

ルインシェイド

「ダメージチェック。」

「ターン終了。」 小川健太郎 手札 0

「僕のスタンド&ドロ。」 スタンド↓ドロ↓ライド

「ファイナルターン！」

「ソウルセイバードラゴンにライド！」

「っ！？そのカードは！？」

「ソウルセイバードラゴンのソウルブラスト（5）。
バロンとペガサスナイト、そしてエルフにパワー＋5000。」

大いなる賢者バロン	POWER13000
若年のペガサスナイト	POWER11000
魂を導くエルフ	POWER12000

「三体にパワー5000だど！？」

「さらに小さな賢者マロン、断罪の騎士ボールスをコール！」

左	V	右
大いなる賢者バロン	ソウルセイバードラゴン	断罪の騎士ボ ールス
若年のペガサスナイト	小さな賢者マロン	魂を導くエルフ

「魂を導くエルフのブーストでボールスのアタック！」

断罪の騎士ボールス POWER22000

「ボールスのスキルカウンターブラスト（1）。パワー＋3000。
」

断罪の騎士ボールス POWER25000

「・・・ノーガードだ。」

引いたカード お化けのリック 治

「よし！ヒールトリガーだ！ダメージを一枚回復！」

小川健太郎 D A M A G E 5

魔の海域の王バスカーク P O W E R 1 5 0 0 0

「マロンのブーストでソウルセイバードラゴンのアタック！」

「突風のジンで防御！手札からモンスターフランクをコストに完全ガード！」

ソウルセイバードラゴン P O W E R 0

「ツインドライブ。」

引いたカード ソウルセイバードラゴン

大いなる賢者バロン

「ペガサスナイトのブーストでバロンのアタック！」

大いなる賢者バロン P O W E R 2 6 0 0 0

「・・・ノーガードだ。」

引いたカード キャプテンナイトミスト

表彰式終了後

駿「さてと、じゃあ行くか。」

十代「行くなって言ってもバスはあと三十分こないぜ。」

駿「問題ない。タクシーを拾う。」

十代「お前らそんな金あんのか？」

透「あるわけないだろ。金出すのはお前だ！」

十代「なんで俺なんだよ!？」

駿「当然だ。この中で唯一まともな収入のある社会人だから。」

十代「しょうがねえな……。はあ、まだ給料日は先なのに……」

— — — — —
— — — — —
— — — — —
一方その頃の第三地区

權「ファイナルターン! オーバーロードのアタック! エターナルフ
レーム!」

敵キャラ DAMAGE 6

審判「勝者! チームQ4 權トシキ!」

GRADE 14 聖なる龍（後書き）

今回はここまで。

次回はアイチたちを応援します。

GRADE 15 決勝での再戦(前書き)

皆さん、あけましておめでとうございます。

本年も是非「カードファイト!! ヴァンガード 先導者の道しるべ」をよろしく願います。

新年早々お詫び。そして言い訳。

今回は滅茶苦茶短いうえに始まり方も終わり方も適当です。

言い訳をしますと、前に同じお話を書いていたものがほぼ書き終わったときに消えてしまいそれっきり少し遠ざかっていました。

今回の手抜きに関しまして重ねてお詫び申し上げます。

GRADE 15 決勝での再戦

SIDE先導アイチ

權君とカムイ君の活躍で決勝まで来ちゃった・・・。

次はいよいよゴウキさんたちのチーム男前だ！

そういえば駿君達のチームはどうなったんだろう？

「おーい、アイチー！！」

「駿君！！」

「どうやらこの様子だと決勝までは行けたみたいだな。」

「うん。ほとんど權君とカムイ君だけで勝ってきたけど・・・。」

「何言ってるんですかお兄さん。お兄さんだって初戦で勝ってたじゃないですか！」

「アイチも勝ったのか、よかったじゃん。」

「うん・・・ありがとう。」

「ところで次の相手のチーム男前ってこの間見に行ったところだよな？」

まあ、頑張ってるね。僕たちは客席にいるから。」

「うん！」

「では、全国大会で。」

「ずいぶんと言ってくれるじゃねえか。」

うわぁゴウキさん・・・。

「悪いが全国へ行くのは俺達チーム男前だ。
カムイ、俺たちのチームに入るのを断ったこと、後悔させてやる
ぜ！」

「俺もアイチお兄さんもあれから強くなったんだ！
この決勝で俺はお前を倒す！それがお前に対しての俺のお礼参り
ってやつだ！」

「御礼だけでいいんだけどな・・・。」

――――
――――
――――

そして・・・。

「マジシャンガールキララでアタック！」

「うわぁぁぁぁぁ！」

「ゲット！クリティカルトリガーダブル！」

「ジャッパーン！？」

「騎士たちの神よ、出でて神秘の力をふるえ！ライドソウルセイバ
ードラゴン！」

GRADE 15 決勝での再戦（後書き）

本当に適当ですいません。

こんな作品ですが本年もよろしく願います。

GRADE16運命の出会いGRADE17開幕! 全国大会(前書き)

今回は二話連続です。

GRADE16運命の出会いGRADE17開幕！全国大会

注意 状況説明は前回のあらすじではありません

状況説明

地区大会から数日後アイチはカムイに誘われミサキを加えた三人でカードショップPSYへ行くことになった。

そこへ森川マケミことストーカーが乱入。なぜかこいつも付いてきた。

そしてPSYの店内で出会った謎の赤い髪の男(?)。

彼は一体……。そしてそこにはなぜか古城駿も来ていた。

駿はどうやら手紙で誘われたみたいだが……。

「ホントに驚いたよ、まさか駿君も来てるなんて。」

「今朝自宅のポストに手紙が入ってて……。」

古城駿様

あなたをカードショップPSYにご招待いたします
是非おひとりでご来店ください。

「こんな手紙だ。」

「誰なんだ？こんな手紙書いたの……。」

「それは私が書きました。」

「この声は・・・スイコさん。」

「彼等は私が呼びました。雀ヶ森レンくん、先導アイチ君そして古城駿君。」

「特に雀ヶ森レン君あなたの力を見せてもらいます。」

「雀ヶ森レン！？ってあの雀ヶ森レン？」

「カムイ君知ってるの？」

「前回初出場ながら圧倒的な実力で優勝したチームフーフアイターのリーダー。」

雀ヶ森レン。」

「フーフアイターと言えば・・・。」

「駿君知ってるの？」

「ああ、地区大会で僕たちが戦ったチームにフーフアイターのチームがあった。」

「どういうこと？」

「どうやらフーフアイターには実力順にたくさんのチームがあるらしい。」

僕たちが倒したのはその中の1チーム。」

$$\begin{array}{c} \top \\ \wedge \\ \vdots \\ \circ \\ \perp \end{array}$$
「ファイナルターン！ブレジャーズをコール、フローレスにパワー
+4000」

コ
ー
リ
ン

D
A
M
A
G
E
6

「あれが全国チャンピオンの力・・・。
そんなことよりファイナルターンって・・・。」

「いや、僕たちは櫂のセリフを真似してるだけだから……。」

「それよりさっきからアイチがものすごく具合が悪そうだ。今日ははやく帰ったほうがいい。」

カムイ「のんびり待つしかないか。」

アイチ「そうだね。」

透「なんだお前ら車で来たのか、ずいぶん楽しんでるな。」

アイチ「透さん！」

カムイ「じゃあ、あんたらは一体何できたっていうんだ。」

透「それは・・・聞かないでくれ・・・。」

アイチ「?？」

駿「深夜から・・・自転車こいで・・・。」

ミサキ「あんた、ここ自転車で来るような距離じゃないよ。」

せめて電車で来ればいいのに。」

アイチ「一体何があったの？」

駿「実は前回会場を移動するときに十代の金でタクシーに乗ったせいであいつが怒って・・・。」

透「それで、もう全員自転車だ！ってわがまま言われて・・・。」

駿「かといって我々のお金はすべて十代が管理しているから電車で来るわけにもいかず・・・。」

透「こんなところまではるばる自転車約五時間・・・。」

駿・透「はぁ〜疲れた……。」

アイチ「……け、結構大変だったんだね。」

アイチ「そういえば、あれ何だろう……。」

カムイ「あれはテレビカメラですよ。今日の大会は全国中継されま
すから。」

アイチ「え！？ そうなの？」

駿「つまりみっともない試合をすればそれが全国中継されるってこ
とだ。」

透「そういえば全国大会はいつも中継されているんだが見たことな
いのか？」

アイチ「ああ……はい。」

カムイ「それよりあれ、ドクターOじゃないですか！ ヴァンガード
TVのロケかな？」

駿「ちなみにドクターOは元々日本のプロデューサー、実業家だ。

現在の所属は株式会社ブロード。

設定では惑星クレイから来たヴァンガードにすべてをささげた
男だが、

実際には現在、ヴァンガードの他に同じ会社のTCGモン○タ
ーコ○クシヨンのプロデューサーもやつ ている。（ウィ○ペ○
イアより）」

アイチ「何処でそんなこと調べたの？」

駿「ウイ○ペ○イアだ。」

カムイ「そんなのよりちよっと見学に行きましょうよ。あんなものめったに見れませんよ。」

アイチ「え？えっ？」

カムイ「ほらはやく！！うわっ！！」

アイチ「カムイ君！！」

光定ケンジ「大丈夫？」

アイチ「カムイ君大丈夫？」

カムイ「大丈夫ですよお兄さん。」

光定「よかった。」

カムイ「よかったじゃねえだろうが！人のことはね飛ばしといて。

大型トラックにぶつかったかと思ったじゃねえか！！」

光定「いやあごめんごめん。でもぶつかったのは君のほうだから。」

でも怪我がなくてよかった。ごめん。」

カムイ「いやあ、俺のほうこそよそ見してましたごめんなさい。」

アイチ「すみませんでした。」

ユリ「何やってるの？皇帝。」

ガイ「何かあったんですか？」

光定「いやあちょっとぶつかっちゃって・・・。」

ユリ「ごめんねボク、大丈夫だった？」

カムイ「ぼ・・・ボク！？子供扱いすんじゃねえ！」

ユリ「血がにじんでるわ。すりむいたのね。ちょっと待って、絆創膏あったはず。」

カムイ「大したことねーよ！」

光定「やっぱり怪我してたか。ホントごめんな。」

カムイ「い・・・イヤッ！」

ミサキ「これ。」

光定のおとした本をミサキが渡す。

光定「ああ、ありがとう。」

カムイ「ああ！？お前のせいでロケ見逃したじゃねーか！」

いはすべて調べつくした。

カエサルของไฟต์は前回の全国、それから今回の地区大会をすべて研究してきた。」

アイチ「へえ、凄いね。」

— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —
— — — — —

光定「じゃあ、自己紹介を・・・って言いたいところなんだけど、

その辺はさっきその彼が全部しゃべっちゃったから特に説明することはないね。」

森川「うおおおっ！コーリンちゃん！！」

アイチ「森川君!？」

森川「ふっふっふ。会場限定グッズ、全種類コンプリートオ!! 今日
の目的は達成したぜ！」

井崎「よかったな。ってなににきたんだよ！」

三和「チームQ4とサティスファクションの応援は二の次か？」

森川「それはそれ、これはこれ。ウルトラレアの会員カードのポイントも大幅アップ！」

俺様の生きざまに死角なしだ!! な、アイチ。俺が付いてるぜ!!！」

光定「いやあゝ今回の開会式は派手だね。」

アイチ「前は違ったんですか？」

光定「そうだね。盛大ではあったけどここまでにぎやかではなかったね。」

アイドルのライブなんてなかったし。」

駿「それだけ不景気ってことかな。」

透「たぶんそれは違う。」

森川「コーリンちゃん！！」

櫛「下らん。」

森川「お前今下らんって言っただろ！！」

井崎「森川。誰もそんなこと言ってないから。」

森川「そうか？今聞こえた気がするが・・・気のせいかな？」

井崎「うんうん。」

三和（いや言った。聞こえなかったけど言った。こいつすげえおもしろえ！！）

ガイ「そういえば君たちのチームには四人いるけど誰が出るのかな？」

対戦相手ごとにオーダーを変えるか、それとも別の作戦があるのかな？」

アイチ「それは・・・。」

ユリ「やめなさいガイ。他のチームの作戦を無闇に詮索しないの。」

櫛「いや、構わん。作戦と呼べるようなものじゃないからな。簡単な話だ。」

四人の中で一番弱い奴が抜ける。それだけだ。」

カムイ「櫛！」

櫛「何だ。」

カムイ「お前、言い方ってもんがあるだろ！」

光定「ああ。喧嘩はダメだよ。二人とも。」

カムイ「放っておいてくれ！これは俺達チームQ4の問題だ！」

櫛「問題・・・そうだ問題だな。」

カムイ「てっめー！！」

アイチ「待ってカムイ君！」

カムイ「お兄さん。」

アイチ「僕が外れるよ。四人の中で一番弱いのは僕なんだから。」

櫛「決まりだな。」

カムイ「……權、一つ答えろ。」

權「何だ」

カムイ「お前にとってヴァンガードとはなんだ！」

權「より強い相手を求め勝利する。それが俺のヴァンガードだ。」

カムイ「それだけか？」

權「ああ。」

カムイ「俺は元々好きでカードキャピタルに出入りするようになったわけじゃねえ。

ただ、チーム男前にいたくない理由があったから仕方なく顔を出すようになったんだ。

だからチームQ4だってそんなに思い入れのあるチームじゃなかった。」

カムイ「けどな、今はこのチームで勝ちたいって思ってるんだ。なのにお前は……」

簡単にやめろだの抜けろだの言いやがって！權、お前は仲間をどう思ってるんだ！」

權「興味ないな。どう思おうが勝ち負けには関係しないだろう。」

カムイ「やってらんねえ。お兄さん。俺これ以上このチームにいられません!!」

アイチ「待って、カムイ君!!」

店長「いやあ、皆こんなところにいたんですか。探しましたよ。」

アイチ「ごめんなさい店長。僕今急いでいるんです。」

店長「何処に行くんですか?もう大会始まりますよ。」

アイチ「え?」

店長「ライブも終わりましたし、この後組み合わせ抽選をしたらすぐに一回せんです。」

櫂「戸倉、行くぞ。」

櫂「来い、アイチ。葛木がいなくなった以上お前が来なければチームQ4は棄権することになる。」

それでもいいのか?

店長「カムイ君?棄権?」

駿「いいからあんたはしゃべるな。」

光定「ちよつと良いかな。全国大会は今日と来週の二回行われるって知ってるかい?」

アイチ「はい?」

光定「今日はその一日目予選の日だ。今日を勝ち抜けば来週の決勝に進めるんってわけだ。」

今から彼を追うより彼の帰ってくる場所を残しておくこと。
それがチームだと思うよ。」

アイチ「はい。」

— — — — —
— — — — —
— — — — —

「さあ、ここからの司会は私MCミヤーが務めさせていただきます。
」

森川「ひっこめへばMC！地味な司会はいらねーんだよ！さっさと
ウルトラレアを出しやがれ！」

井崎「森川。」

MCミヤ「き・・気にしていることを・・。」

森川「コーリンちゃんを出せ！」

三和「小指たてんな！」

MC「それでは温かい声援にこたえて今回のアシスタントを紹介し
ましょう。

ウルトラレアです！」

森川「待ってました。コーリンちゃん！！」

— — — — —
— — — — —
— — — — —

そして組み合わせの結果。

A
ブ
ロ
ツ
ク

チームQ4

チームマツスルブレイン

チームFFAL4

チームSTF

店長 「前回優勝チームがよりによって同じブロックに。」

「これは大変ですよ。」

GRADE16運命の出会いGRADE17開幕！全国大会（後書き）

今回はここまでチームSTFが何か分かる人いますかね。
大したことではありません。

古城駿のデッキリスト 全国大会開幕時版

G-0

スターダストトランペッター×1

幸運の運び手エポナ×4

アラバスターオウル×2

ふろうがる×2

まあるがる×4

世界中の巫女エレイン×4

計17枚

G-1

小さな賢者マロン×4

といぶがる×3

ぽーんがる×3

閃光の盾イゾルデ×2

計12枚

G-2

沈黙の騎士ギャラティン×4

ブラスター・ブレード×3

ハイドッグブリーダーアカネ×3

真理の騎士ゴードン×2

計12枚

G-3

ソウルセイバードラゴン×2

爆炎の剣士バロミデス×3

ホーリーディザスタードラゴン×2

アルフレッド・アーリー×2

計9枚

体合計50枚

全

古城駿のデッキリスト 全国大会開幕時版（後書き）

一部物語と違うときがこの先あると思いますが、大体こんな感じです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4706t/>

カードファイト！！ヴァンガード 先導者の道しるべ

2012年1月3日18時47分発行